

阿寒摩周国立公園

公園計画変更書

[一部変更]

令和 年 月 日
環 境 省

目次

第1	公園計画の変更	1
1	変更理由	1
2	基本方針の変更内容	2
3	規制計画の変更内容	4
(1)	保護規制計画及び関連事項	4
ア	関連事項	4
(ア)	採取等規制植物	4
(イ)	植栽等規制植物及び区域	30
(ウ)	乗入れ規制区域及び期間	32
4	事業計画の変更内容	35
(1)	施設計画	35
ア	保護施設計画	35
(ア)	植生復元施設	35
イ	利用施設計画	37
(ア)	集団施設地区	37
(イ)	単独施設	41
(ウ)	道路	43
a	歩道	43
5	参考事項	56

第1 公園計画の変更

1 変更理由

阿寒摩周国立公園は、北海道東部、千島火山帯の西南端に位置する阿寒・摩周・屈斜路の3つのカルデラを主体とした、火山と森と湖が織りなす原生的景観を有する地域である。1934年12月4日に「阿寒国立公園」として指定され、1938年5月13日に特別地域の指定、1954年8月3日に特別保護地区の指定が行われ、1977年11月の再検討の後、5度の点検が行われている。2017年8月8日の第5次点検では、摩周湖周辺及び神の子池周辺の公園区域の拡張等を行うとともに「阿寒摩周国立公園」への名称変更をおこなった。

本公園は、釧路市における観光立国ショーケースや、弟子屈町におけるエコツーリズム全体構想の策定等の取り組みが評価され、2016年度より開始された国立公園満喫プロジェクトにおいて、先行的・集中的に取り組みを進める公園（以下、先行8公園）として選定されており、2016年8月に阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会を立ち上げ、訪日外国人客を増加させるための取り組みを「阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2020」として同年12月にとりまとめ、同プログラムに基づく取り組みを進めている。

ステップアッププログラムについては、中間評価を踏まえて2019年1月に改定し、2020年までに向けて今後加速化していく主な取り組みを追加した。また、満喫プロジェクトの取り組み継続も見据えて2020年2月に開催した地域協議会において、2021年以降の取り組み方針について合意した。

国立公園満喫プロジェクトの推進により、国立公園の利用に関する様々な取り組みが進んできたところであるが、これまでの取り組みを踏まえて2021年以降に向けた新たな取り組みを推進していくため、保護規制計画及び関連事項並びに事業計画を変更するための一部変更を行うものである。

2 基本方針の変更内容

基本方針を次のとおり変更する。

(表 1 : 基本方針変更表)

変 更 後	変 更 前
(1) 景観型式及びその特性 ア 地形地質 イ 地被 ウ 特殊景観 (2) 保護の方針 ア 本公園はカルデラ景観とこれを覆う亜寒帯性森林、高山植生、火山現象等の原景観地域を多く包含しており、これらの地学的景観及び植生等の保護に重点を置くものとする。また、世界で唯一となった球状マリモの群生地である阿寒湖においては、かつての生育地の復元を進める。 (略) カ 雌阿寒岳山腹部とオンネトー周辺、フツプシ岳、屈斜路湖一帯、藻琴山から美幌峠へかけての外輪山山稜部、摩周外輪山山稜部、阿寒カルデラの各内壁を形成する一体、木禽岳周辺等については、野生動植物を始めとする自然環境の保護及び静穏の維持のため、乗り入れ規制区域とする。 (3) 利用の方針 エ 道路のうち車道については、既に大部分が整備済みである	(1) 景観型式及びその特性 ア 地形地質 イ 地被 ウ 特殊景観 (2) 保護の方針 ア 本公園はカルデラ景観とこれを覆う亜寒帯性森林、高山植生、火山現象等の原景観地域を多く包含しており、これらの地学的景観及び植生等の保護に重点を置くものとする。 (3) 利用の方針 エ 道路のうち車道については、既に大部分が整備済みである

が、歩道については、興味地点を探勝又は登山するためのもの
のを中心としつつ、本公園が将来的にひがし北海道の3空港
をつなぐロングトレイルの結節点となるよう、公園内の歩道
をネットワークでつなぐよう計画する。

が、歩道については、各集団施設地区等の利用拠点より派生
し、興味地点を探勝又は登山するためのものとして計画に重
点を置くものとする。

3 規制計画の変更内容

(1) 保護規制計画及び関連事項

保護規制計画等の一部を次のとおり変更する。

ア 関連事項

(ア) 採取等規制植物

採取等規制植物を次のとおりとする。

(表2：採取等規制植物変更表)

変 更 前		変 更 後	
科名	種名(ミズゴケ科の植物)にあつては属名)	科名	種名(ミズゴケ科の植物)にあつては属名)
ミズゴケ	ミズゴケ	アオミソウ	<i>Aegagropila linnaei</i> (マリモ)
シオグサ	マリモ	ミズゴケ	<i>Sphagnum</i> spp. (ミズゴケ属)
ヒカゲノカズラ	タカネスギカズラ、タカネヒカゲノカズラ	ヒカリゴケ	<i>Schistostega pennata</i> (ヒカリゴケ)
イワヒバ	エゾヒメクラマゴケ、エゾノヒモカズラ	ヒカゲノカズラ	<i>Huperzia miyoshiana</i> (ヒメスギラン)、 <i>Ly</i> <i>copodium annotinum</i> var. <i>acrifolium</i> (タカ
ミズニラ	ヒメミズニラ	ラ	ネスギカズラ)、 <i>Lycopodiella cernua</i> (ミ
ハナヤスリ	ヒメハナワラビ(ヘビノシタ)		ズスギ)、 <i>Lycopodium nikoense</i> (タカネヒ
オシダ	エゾメシダ、ニオイシダ、ウサギシダ、ミヤマイワデンダ		カゲノカズラ)
ウラボシ	エゾデングダ、イワオモダカ	イワヒバ	<i>Selaginella helvetica</i> (エゾノヒメクラマゴ
マツ	ハイマツ		ケ)、 <i>Selaginella shakotanensis</i> (ヒモカズ
ヒノキ	ミヤマビヤクシン(ミヤマハイビヤクシン)		ラ)、 <i>Selaginella sibirica</i> (エゾノヒモカズ
タデ	ヒメイワタデ(チシマヒメイワタデを含む)	ミズニラ	ラ) <i>Isoetes asiatica</i> (ヒメミズニラ)
		ハナヤスリ	<i>Botrychium lunaria</i> (ヒメハナワラビ(ヘビ

	む)、エゾノミズタデ、エゾイブキトラノオ、ムカゴトラノオ、ウラジロタデ
ナデシコ	メアカンフスマ、エゾカワラナデシコ、タカネナデシコ(クモイナデシコを含む)、クシロワチガイ、チシママンデマ、エゾフスマ(シラオイハコベ)、ナガバツメクサ、エゾオオヤマハコベ
キンポウゲ	エゾノレイジンソウ(ダイセツレイジンソウ)、カラフトブシ、エゾトリカブト、ウスバトリカブト、テリハブシ、アカミノルイヨウショウマ、フクジュソウ、ヒメイチガ、ハクサンイチゲ、ミヤマオダマキ、エゾリュウキンカ、クロバナハンショウヅル、ミヤマハンショウヅル、ミツバオウレン、チトセバイカモ、チャボカラマツ、エゾカラマツ(ミヤマアキカラマツ)
メギ	サンカヨウ
スイレン	ネムロコウホネ、エゾヒツジグサ
オトギリソウ	イワオトギリ(ハイオトギリ)
モウセンゴケ	モウセンゴケ
ケシ	エゾキケマン、コマクサ
アブラナ	ミヤマハタザオ

	ノシタ)、 <i>Botrychium strictum</i> (ナガホノナツノハナワラビ (ナガボノナツハナワラビ))、 <i>Botrychium virginianum</i> (ナツノハナワラビ)
トクサ	<i>Equisetum scirpoides</i> (ヒメドクサ)
コケシノブ	<i>Hymenophyllum wrightii</i> (コケシノブ)
コバノイシカグマ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i> (イヌシダ (カラクサイヌシダ、フギレイヌシダ、シシイヌシダ))
ナヨシダ	<i>Cystopteris fragilis</i> (ナヨシダ)、 <i>Gymnocarpium dryopteris</i> (ウサギシダ (アオキガハラウサギシダ))
チャセンシダ	<i>Asplenium incisum</i> (トラノオシダ (チリメントラノオシダ、フイリトラノオシダ))
ヒメシダ	<i>Thelypteris nipponica</i> (ニッコウシダ)、 <i>Thelypteris palustris</i> (ヒメシダ (シヨリマ))、 <i>Thelypteris quelpaertensis</i> (オオバシヨリマ (ヤクシマシヨリマ))、 <i>Phegopteris con-nectilis</i> (ミヤマワラビ)
イワデンダ	<i>Woodsia ilvensis</i> (ミヤマイワデンダ)、 <i>Woodsia manchuriensis</i> (フクロシダ)、 <i>Woodsia polystichoides</i> (イワデンダ (エゾイワデンダ))

ベンケイソウ	ホソバソウベンケイ(アオノイソベンケイ)、イソベンケイ	メシダ	<i>Athyrium brevifrons</i> (エゾメシダ(コウライメシダ))、 <i>Athyrium rupestre</i> (ミヤマヘビノネゴザ)
ユキノシタ	トカチスグリ、ダイモンジソウ、エゾクロクモソウ、フキユキノシタ、ヤマハナソウ	オシダ	<i>Dryopteris amurensis</i> (オクヤマシダ)、 <i>Dryopteris coreanmontana</i> (カラフトメンマ(オシダモドキ))、 <i>Dryopteris fragrans</i> (ニオイシダ)、 <i>Dryopteris saxifraga</i> (イワイタチシダ(イワベニシダ))、 <i>Polystichum craspedosorum</i> (ツルデンド(キクバツルデンド))
バラ	クロミサンザシ、イロキンバイ、メアカンキンバイ、クロバナロウゲ、ミネザクラ(チシマザクラを含む)、オオタカネバラ、カラフトイバラ、マルバシモツケ、エゾノマルバシモツケ、エゾシモツケ(エゾノシロバナシモツケ)、ホザキシモツケ	ウラボシ	<i>Lepisorus annuiifrons</i> (ホテイシダ)、 <i>Lepisorus ussuriensis</i> var. <i>distans</i> (ミヤマノキシノヅ)、 <i>Pleurosoriopsis makinoi</i> (カラクサシダ)、 <i>Polypodium fauriei</i> (オシヤグジデンド(オシヤゴジデンド))、 <i>Polypodium sibiricum</i> (エゾデンド)、 <i>Polypodium vulgare</i> (オオエゾデンド)、 <i>Pyrrosia hastata</i> (イワオモダカ)、 <i>Selligaea hastata</i> (ミツデウラボシ(リュウキユウミツデウラボシ、チャボミツデウラボシ、ヤトミウラボシ、フギレミツデウラボシ、クジヤクウラボシ))
マメ	センダイハギ		
フウロソウ	チシマフウロ(トカチフウロ)、イチゲフウロ、エゾフウロ		
スミレ	ウスバスミレ		
アカバナ	ヒメアカバナ、カラフトアカバナ、ホソバアカバナ		
ミズキ	ゴゼンタチバナ		
セリ	シラネニンジン		
イワウメ	イワウメ、イワカガミ(コイワカガミ、オオイワカガミを含む)		
イチヤクソウ	ウメガサソウ、ギンリョウソウ、カラフトイチヤクソウ(エゾイチヤクソウ)、ベ	マツ	<i>Pinus pumila</i> (ハイマツ)

	ニバナイチャクソウ(ベニイチャクソウ)、ジンヨウイチャクソウ、コイチャクソウ	ヒノキ	<i>Juniperus chinensis</i> var. <i>sargentii</i> (ミヤマビャクシン (シンパク))
ツツジ	コメバツガザクラ、イワヒゲ、シラタマノキ、イソツツジ (エゾイソツツジ) 、ミネズオウ、ツルコケモモ、キバナシヤクナゲ、ハクサンシヤクナゲ(シロバナシヤクナゲ、エゾシヤクナゲを含む)、エゾツツジ、エゾムラサキツツジ、コメツツジ、ミヤマホツツジ、イワツツジ、クロマメノキ、コケモモ	ヤマモモ ヤナギ	<i>Myrica gale</i> var. <i>tomentosa</i> (ヤチヤナギ) <i>Salix reinii</i> (ミヤマヤナギ (ミネヤナギ、マルバミネヤナギ、ミチノクマルバミネヤナギ、シコタンヤナギ))、 <i>Salix taraiken</i> <i>sis</i> (タライカヤナギ (ヒロハノタライカヤナギ、チョウセンミネヤナギ))
		カバノキ	<i>Alnus viridis</i> subsp. <i>maximowiczii</i> var. <i>maximowiczii</i> (ミヤマハンノキ (サルクラハンノキ))
ガンコウラン	ガンコウラン	ビャクダン	<i>Thesium chinense</i> (カナビキソウ)
サクラソウ	サクラソウモドキ、ヤナギトラノオ、クリンソウ、エゾオオサクラソウ、ユキワリコザクラ、ツマトリソウ、コツマトリソウ	タデ	<i>Aconogonon ajanense</i> (ヒメイワタデ (チシマヒメイワタデ))、 <i>Aconogonon weyrichii</i> var. <i>weyrichii</i> (ウラジロタデ (ウラジロイタドリ、タカネウラジロイタドリ))、 <i>Bistorta officinalis</i> subsp. <i>japonica</i> (イブキトラノオ (ホソバイブキトラノオ、イワイブキトラノオ))、 <i>Bistorta vivipara</i> (ムカゴトラノオ)、 <i>Persicaria amphibia</i> (エゾノミズタデ)、 <i>Persicaria hydropiper</i> var. <i>hydropiper</i> (ヤナギタデ (ホンタデ、マタデ、カワタデ、ナガボヤナギタデ))、 <i>Ru</i>
	ニバナイチャクソウ(ベニイチャクソウ)、ジンヨウイチャクソウ、コイチャクソウ		
ツツジ	コメバツガザクラ、イワヒゲ、シラタマノキ、イソツツジ (エゾイソツツジ) 、ミネズオウ、ツルコケモモ、キバナシヤクナゲ、ハクサンシヤクナゲ(シロバナシヤクナゲ、エゾシヤクナゲを含む)、エゾツツジ、エゾムラサキツツジ、コメツツジ、ミヤマホツツジ、イワツツジ、クロマメノキ、コケモモ		
ガンコウラン	ガンコウラン		
サクラソウ	サクラソウモドキ、ヤナギトラノオ、クリンソウ、エゾオオサクラソウ、ユキワリコザクラ、ツマトリソウ、コツマトリソウ		
リンドウ	エゾリンドウ、エゾオヤマリンドウ、ハナイカリ、チシマセンブリ		
ムラサキ	エゾルリソウ、エゾムラサキ		
シソ	エゾタツナミソウ、イブキジャコウソウ		
ゴマノハグサ	エゾコゴメグサ、ヨツバシオガマ(エゾヨツバシオガマを含む)、トモエシオガマ、イワブクロ(タルマイソウ)、キクバクワ		

	ガタ(シラゲキクバクワガタ、ホソバキクバクワガタを含む)		<i>mex alpestris subsp. lapponicus</i> (タカネスイバ)、 <i>Rumex longifolius</i> (ノダイオウ)
スイカズラ	リンネソウ、エゾヒヨウタンボク、クロミノウグイスカズラ、チシマヒヨウタンボク、ネムロブシダマ、ベニバナヒヨウタンボク、ウコンウツギ	スベリヒユ	<i>Montia fontana</i> (ヌマハコベ(オオミズハコベ、モンチソウ))
キキョウ	ハクサンシヤジン、チシマギキョウ、イワギキョウ、サワギキョウ	ナデシコ	<i>Arenaria merckioides var. merckioides</i> (メアカンフスマ)、 <i>Dianthus superbus var. superbus</i> (エゾカワラナデシコ)、 <i>Dianthus superbus var. speciosus</i> (タカネナデシコ)、 <i>Pseudostellaria sylvatica</i> (クシロワチガイソウ (クシロワチガイ、ホソバワチガイイソウ))、 <i>Silene repens var. latifolia</i> (チシママンデマ)、 <i>Stellaria fenzlii</i> (シラオイハコベ (エゾフスマ))、 <i>Stellaria humifusa</i> (エゾハコベ)、 <i>Stellaria longifolia</i> (ナガバツメクサ (ナガバノツメクサ、エダウチヒメハコベ、カラフトノミノフスマ、エゾノミノフスマ))、 <i>Stellaria radians</i> (エゾオオヤマハコベ)、 <i>Stellaria ruscifolia</i> (シコタンハコベ (ネムロハコベ))
キク	エゾノコギリソウ、エゾノチチコグサ、オオワタヨモギ(ヒロハウラジロヨモギ)、マシユウヨモギ、エゾムカシヨモギ、タカネニガナ、エゾウスユキソウ(レブンウスユキソウ)、トウゲブキ、ナガバキタアザミ、ミヤマアキノキリンソウ (コガネギク) (キリガミネアキノキリンソウを含む)		<i>Aconitum gigas</i> (エゾレイジンソウ (エゾノレイジンソウ))、 <i>Aconitum sachalinense subsp. Sachalinense</i> (カラフトブシ (ケミノカラフトブシ、コカラフトブシ))、
ユリ	ツバメオモト、クロユリ、キバナノアマナ、ニッコウキスゲ (エゾゼンテイカ(エゾカンゾウ)、ゼンテイカ)、タチギボウシ、エゾスカシユリ、クルマユリ、チシマゼキショウ(リシリゼキショウ)、オオナバノエンレイソウ、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウ (シロバナエンレイソウ	キンポウゲ	

	ウ)
アヤメ	ヒオウギアヤメ
イグサ	タカネスズメノヒエ(ミヤマスズメノヒエ)
イネ	ミヤマヌカボ、ホソバドジョウツナギ
サトイモ	ヒメカイウ、ヒメザゼンソウ
カヤツリグサ	カヤツリスゲ、ヤチスゲ、ホロムイスゲ、カワズスゲ(ヤチカワズスゲを含む)、ウスイロスゲ(エゾカワズスゲ)、ワタスゲ
ラン	キンセイラン、ササバギンラン、アオチドリ、サイハイラン、イチヨウラン、コイチヨウラン、アオスズラン(エゾスズラン)、トラキチラン、オニノヤガラ、ヒメミヤマウズラ、ノビネチドリ、ミヤマモジズリ、ジガバチソウ、スズムシソウ、フタバラン(コフタバラン)、ミヤマフタバラン、ホザキイチヨウラン、アリドオシラン、サカネラン、ハクサンチドリ(ウズラバハクサンチドリを含む)、コケイラン、タカネトンボ、ミズチドリ、エゾチドリ、キノチドリ、ホソバノキノチドリ、ヒロハトンボソウ、トンボソウ

	<i>Aconitum sachalinense</i> subsp. <i>yezoense</i> (エゾトリカブト (ウスバトリカブト、テリハブシ))、<i>Aconitum iinumae</i> (オオレイジンソウ)、<i>Actaea erythrocarpa</i> (アカミノルイヨウショウマ)、<i>Adonis amurensis</i> (キタミフクジュソウ (アムールフクジュソウ、イチダフクジュソウ))、<i>Adonis ramosa</i> (フクジュソウ (エダウチフクジュソウ))、<i>Anemone debilis</i> (ヒメイチダ)、<i>Anemone narcissiflora</i> var. <i>sachalinensis</i> (エゾノハクサンイチダ (ハクサンイチダを含む)) (カラフトセンカソウ、イチリンハクサンイチダ))、<i>Aquilegia flabellata</i> var. <i>pumila</i> (ミヤマオダマキ (ヒメオダマキ))、<i>Caltha fistulosa</i> (エゾノリュウキンカ (エゾリュウキンカ))、<i>Caltha palustris</i> var. <i>enkoso</i> (エンコウソウ)、<i>Clematis alpina</i> subsp. <i>ochotensis</i> var. <i>fusijamana</i> (ミヤマハンシヨウヅル)、<i>Clematis fusca</i> var. <i>fusca</i> (クロバナハンシヨウヅル (エゾハンシヨウヅル))、<i>Coptis trifolia</i> (ミツバオウレン (カタバミオウレン))、<i>Ranunculus grandis</i> var. <i>austrokurilensis</i> (シコタンキンポウダ)
--	---

		(アイヌキンポウゲ) 、 <i>Ranunculus japonicus</i> var. <i>japonicus</i> (ウマノアシガタ (キンポウゲ)) 、 <i>Ranunculus nipponicus</i> var. <i>submersus</i> (バイカモ (ウメバチモ、エチゴバイカモ)) 、 <i>Ranunculus yezoensis</i> (トセバイカモ (ネムロウメバチモ、エゾウメバチモ)) 、 <i>Thalictrum baicalense</i> (ハルカラマツ (ニッコウカラマツソウ、ニッコウカラマツ)) 、 <i>Thalictrum foetidum</i> var. <i>glabrescens</i> (チャボカラマツ) 、 <i>Thalictrum sachalinense</i> (エゾカラマツ (ミヤマアキカラマツ))
メギ		<i>Caulophyllum robustum</i> (ルイヨウボタン)、 <i>Diphylleia grayi</i> (サンカヨウ (キレハサンカヨウ))
スイレン		<i>Brasenia schreberi</i> (ジユンサイ) 、 <i>Nuphar pumila</i> var. <i>pumila</i> (ネムロコウホネ (エゾコウホネ、マンシユウコウホネ)) 、 <i>Nymphaea tetragona</i> (ヒツジグサ (エゾノヒツジグサ、エゾヒツジグサ))
ウマノスズクサ		<i>Asarum heterotropoides</i> var. <i>heterotropoides</i> (オクエゾサイシン)
ボタン		<i>Paeonia japonica</i> (ヤマシヤクヤク (ノシヤク)

		クヤク))、 <i>Paeonia obovata</i> (ベニバサヤマシヤクヤク)
オトギリソウ		<i>Hypericum kamtschaticum</i> (ハイオトギリ (チシマオトギリ))、 <i>Hypericum nakaii subsp. miyabei</i> (トウゲオトギリ) 、 <i>Hypericum yezoense</i> (エゾオトギリ)
モウセンゴケ		<i>Drosera rotundifolia</i> (モウセンゴケ)
ケシ		<i>Corydalis speciosa</i> (エゾケマン) 、 <i>Dicentra peregrina</i> (コマクサ)
アブラナ		<i>Arabis kamtschatica subsp. Kamchatica</i> (ミヤマハタザオ) 、 <i>Barbarea orthoceras</i> (ヤマガラシ (マルバヤマガラシ、ミヤマガラシ、イブキガラシ、シベリアヤマガラシ、エゾヤマガラシ))、 <i>Cardamine yezoensis</i> (エゾワサビ (アイヌワサビ、ミツバタネツケバサ、ツルワサビ))
ベンケイソウ		<i>Phedimus aizoon var. aizoon</i> (ホソバノキリンソウ (ナガバノキリンソウ、ミヤマキリンソウ))、 <i>Phedimus kamtschaticus</i> (エゾノキリンソウ (エゾキリンソウ))、 <i>Rhodiola ishidaei</i> (ホソバワベンケイ (アオイワベンケイソウ))、 <i>Rhodiola rosea</i> (イワベンケイ (イワキリンソウ、ナガバノイ

		ワベンケイ、イワベンケイソウ))
	ユキノシタ	<i>Chrysosplenium alternifolium</i> var. <i>sibiricum</i> (エゾネコノメソウ (カラフトネコノメソウ、オクヤマネコノメソウ))、 <i>Miella nuda</i> (マルバチャルメルソウ (チョウセンチャルメルソウ))、 <i>Parnassia palustris</i> var. <i>palustris</i> (ウメバチソウ (エゾウメバチソウ))、 <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>mutabilis</i> (ダイモンジソウ (ミヤマダイモンジソウ、トウホクダイモンジソウ、タケシマダイモンジソウ))、 <i>Saxifraga fusca</i> subsp. <i>fusca</i> (エゾクロクモソウ (チシマクロクモソウ))、 <i>Saxifraga japonica</i> (フキユキノシタ)、 <i>Saxifraga sachalinensis</i> (ヤマハナソウ)
	スズリ	<i>Ribes latifolium</i> (エゾスズリ) 、 <i>Ribes sachalinense</i> (トガスズリ) 、 <i>Ribes triste</i> (トカチスズリ (チシマスズリ))
	バラ	<i>Comarum palustre</i> (クロバナロウダ (ケクロバナロウダ))、 <i>Crataegus chlorosarca</i> (クロミサンザシ)、 <i>Filipendula glaberrima</i> (エゾノシモツケソウ (チョウセンナツユキノソウ))、 <i>Potentilla anastrifolia</i> var.

		<i>dickinsii</i> (イワキンバイ (アツバイワキンバイ))、<i>Potentilla matsumurae</i> var. <i>matsumurae</i> (ミヤマキンバイ)、<i>Potentilla miyabei</i> (メアカンキンバイ)、<i>Prunus nipponica</i> var. <i>kurilensis</i> (チシマザクラ)、<i>Prunus nipponica</i> var. <i>nipponica</i> (タカネザクラ (ミネザクラ))、<i>Rosa acicularis</i> (オオタカネバラ (オオタカネイバラ))、<i>Rosa amblyotis</i> (カラフトイバラ (ヤマハマナス、カラフトバラ))、<i>Rubus pedatus</i> (コガネイチゴ)、<i>Sanguisorba tenuifolia</i> var. <i>kurilensis</i> (チシマワレモコウ)、<i>Spiraea betulifolia</i> var. <i>aemiliana</i> (エゾノマルバシモツケ (ケナシエゾノマルバシモツケを含む))、<i>Spiraea betulifolia</i> var. <i>betulifolia</i> (マルバシモツケ)、<i>Spiraea media</i> var. <i>sericea</i> (エゾシモツケ (コエゾシモツケ))、<i>Spiraea miyabei</i> (エゾノシロバナシモツケ)、<i>Spiraea salicifolia</i> (ホザキシモツケ)
	マメ	<i>Thermopsis lupinoides</i> (センダイハギ)、<i>Vicia unijuga</i> var. <i>unijuga</i> (ナンテンハギ (フタバハギ、アズキナ、タニワタシ))
	フウロソウ	<i>Geranium erianthum</i> (チシマフウロ (エゾ

		タチフウロ、オオフウロ)、 <i>Geranium sibiricum</i> (イチゲフウロ (シベリアフウロ))、 <i>Geranium yessoense</i> var. <i>yessoense</i> (エゾフウロ)
ヒメハギ		<i>Polygala japonica</i> (ヒメハギ (ハイヒメハギ))
カエデ		<i>Acer tschonoskii</i> var. <i>tschonoskii</i> (ミネカエデ)、 <i>Acer ukurunduense</i> (オガラバナ (ホザキカエデ))
クロウメモドキ	クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>japonica</i> (エゾノクロウメモドキ)
スミレ		<i>Viola biflora</i> var. <i>biflora</i> (キバナノコマノツメ (ケタカネスミレ))、 <i>Viola blandifloris</i> (ウスバスミレ)、 <i>Viola collina</i> (エゾノアオイスミレ (エゾアオイスミレ、マルバケスミレ、テシオスミレ、ニオイケスミレ))、 <i>Viola hultenii</i> (チシマウスバスミレ (ケウスバスミレ))、 <i>Viola patrinii</i> var. <i>patrinii</i> (シロスミレ (シロバナスミレ、ハダカシロスミレ))、 <i>Viola verecunda</i> var. <i>semilunaris</i> (アギスミレ)
アカバナ		<i>Circaea canadensis</i> subsp. <i>quadrisculcata</i> (エゾミズタマソウ)、 <i>Epilobium ciliatum</i>

		(カラフトアカバナ (アズマアカバナ、ノ ダアカバナ、マンシュウアカバナ))、 <i>Ep ilobium fauriei</i> (ヒメアカバナ)、 <i>Epilobiu m palustre</i> (ホソバアカバナ (ヤナギアカ バナ))
アリノトウグ サ		<i>Myriophyllum spicatum</i> (ホザキノフサモ (キンギョモ))、 <i>Myriophyllum ussuriens e</i> (タチモ)、 <i>Myriophyllum verticillatum</i> (フ サモ (キツネノオ))
ミズギ		<i>Cornus canadensis</i> (ゴゼンタチバナ)
セリ		<i>Angelica acutiloba</i> subsp. <i>iwatensis</i> (ミヤ マトウキ (イワテトウキ、ナンブトウキ))、 <i>Bupleurum longiradiatum</i> var. <i>elatus</i> (ホタ ルサイコ)、 <i>Pleurospermum uralense</i> (オオ カサモチ (オニカサモチ))、 <i>Tilingia aja nensis</i> var. <i>ajanensis</i> (シラネニンジン (チ シマニンジン))
イワウメ		<i>Diapensia lapponica</i> subsp. <i>obovata</i> (イワ ウメ)
イチヤクソウ		<i>Chimaphila japonica</i> (ウメガサソウ)、 <i>Hy popitys monotropa</i> (シヤクジョウソウ (シ ヤクジョウバナ))、 <i>Monotropastrum hum ile</i> (ギンリョウソウ (マルミノギンリョウ

		ソウ、コギンリヨウソウ) 、 <i>Orthilia secunda</i> (コイチャクソウ) 、 <i>Pyrola alpina</i> (コバノイチャクソウ) 、 <i>Pyrola asarifolia</i> <i>subsp. incarnata</i> (ベニバナイチャクソウ) 、 <i>Pyrola faurieana</i> (カラフトイチャクソウ) 、 <i>Pyrola japonica f. subaphylla</i> (ヒトツバイチャクソウ) 、 <i>Pyrola minor</i> (エゾイチャクソウ) (チシマイチャクソウ)) 、 <i>Pyrola renifolia</i> (ジンヨウイチャクソウ)
	ツツジ	<i>Andromeda polifolia</i> (ヒメシヤクナゲ (ニコウシヤクナゲ、カラフトヒメシヤクナゲ)) 、 <i>Arctica nana</i> (コメバツガザクラ (ハマザクラ)) 、 <i>Arctous alpinus</i> <i>var. japonicus</i> (ウラシマツツジ) 、 <i>Bryanthus gmelinii</i> (チシマツガザクラ (ヒメツガザクラ)) 、 <i>Cassiope lycopodioides</i> (イワヒゲ (イワナゲヒゲ)) 、 <i>Gaultheria pyrolloides</i> (シラタマノキ (シロモノ)) 、 <i>Elliptia bracteata</i> (ミヤマホツツジ (ホナガミヤマホツツジ)) 、 <i>Eubotryoides grayana</i> <i>var. glabra</i> (エゾウラジロハナヒリノキ (ヒロハハナヒリノキ)) 、 <i>Ledum palustre subsp. diversipilosum</i> <i>var. diversipilosum</i> (カラ

		フトイソツツジ (イソツツジを含む) (カバフトイソツツジ) 、 <i>Loiseleuria procumbens</i> (ミネズオウ) 、 <i>Rhododendron albrechtii</i> (ムラサキヤシオツツジ (ミヤマツツジ)) 、 <i>Rhododendron aureum</i> (キバナシヤクナゲ) 、 <i>Rhododendron brachycarpum var. brachycarpum</i> (ハクサンシヤクナゲ (シロバナシヤクナゲ、ウラゲハクサンシヤクナゲ)) 、 <i>Rhododendron dauricum var. dauricum</i> (エゾムラサキツツジ (トキワゲンカイ)) 、 <i>Rhododendron tschonoskii subsp. tschonoskii</i> (コメツツジ) 、 <i>Therorhodion camtschaticum var. camtschaticum</i> (エゾツツジ (カラフトツツジ)) 、 <i>Vaccinium ovalifolium var. ovalifolium</i> (クロウスゴ (ミヤマクロウスゴ、エゾクロウスゴ、ナガバクロウスゴ、ナガミクロウスゴ)) 、 <i>Vaccinium oxycoccos</i> (ツルコケモモ) 、 <i>Vaccinium praestans</i> (イワツツジ) 、 <i>Vaccinium uliginosum var. japonicum</i> (クロマメノキ) 、 <i>Vaccinium vitis-idaea</i> (コケモモ (ヒロハコケモモ、オオバコケモモ))
	ガンコウラン	<i>Empetrum nigrum var. japonicum</i> (ガンコ

	サクラソウ	ウラン)	<i>Cortusa matthioli subsp. pekinensis var. s</i> <i>achalinensis</i> (サクラソウモドキ (カラフト サクラソウモドキ、エゾノサクラソウモド キ、レブンサクラソウモドキ))、<i>Lysima</i> <i>chia europaea f. arctica</i> (コツマトリソ ウ) 、<i>Lysimachia europaea var. europaea</i> (ツマトリソウ (オオツマトリソウ)) 、 <i>Lysimachia thyrsiflora</i> (ヤナギトラノオ) 、 <i>Primula cuneifolia var. cuneifolia</i> (エゾコ ザクラ (リシリコザクラ)) 、<i>Primula jap</i> <i>onica</i> (クリンソウ) 、<i>Primula jesoana va</i> <i>r. pubescens</i> (エゾオオサクラソウ (エゾサ クラソウ、エゾノサクラソウ、ウスゲノエ ゾザクラ)) 、<i>Primula modesta subsp. mo</i> <i>desta var. modesta</i> (ユキワリソウ (オオユ キワリソウ)) 、<i>Primula modesta subsp. m</i> <i>odesta var. fauriei</i> (ユキワリコザクラ)
	リンドウ		<i>Gentiana triflora var. japonica</i> (エゾリン ドウ) 、<i>Gentiana triflora var. japonica f.</i> <i>montana</i> (エゾオヤマリンドウ) 、<i>Gentian</i> <i>a zollingeri</i> (フデリンドウ) 、<i>Halenia cor</i> <i>niculata</i> (ハナイカリ) 、<i>Pterygocalyx volu</i>

		<i>bilis</i> (ホソバツルリンドウ (ホソバノツル リンドウ))、 <i>Swertia tetrapetala subsp. t</i> <i>etrapetala var. tetrapetala</i> (チシマセンブ リ)
ガガイモ		<i>Vincetoxicum inamoenum</i> (エゾノクサタチ バナ)
アカネ		<i>Galium boreale var. kamischaticum</i> (エゾキ ヌタソウ)、 <i>Galium manshuricum</i> (エゾム ダラ (マンシユウヤエムダラ))、 <i>Galium</i> <i>paradoxum subsp. Franchetianum</i> (ミヤマ ムダラ)
ムラサキ		<i>Mertensia pterocarpa var. yezoensis</i> (エゾ ルリソウ (イワルリソウ))
アワゴケ		<i>Callitriche hermaphroditiica</i> (チシマミズハ コベ)
シソ		<i>Mosla japonica var. japonica</i> (ヤマジソ(シ ロバナヤマジソを含む))、 <i>Scutellaria pe</i> <i>kinensis var. ussuriensis</i> (エゾタツナミソ ウ)、 <i>Scutellaria yezoensis</i> (エゾナミキ (エ ゾナミキソウ、オオナミキソウ))、 <i>Teuc</i> <i>rium veronicoides var. veronicoides</i> (エゾ ニガクサ (ヒメニガクサ))、 <i>Thymus qui</i> <i>nquecostatus var. quinquecostatus</i> (イブキ

	ジャコウソウ (イワジャコウソウ、ナンマ ンジャコウソウ)
ナス	<i>Solanum megacarpum</i> (オオマルバノホロ シ)
ゴマノハグサ	<i>Euphrasia maximowiczii</i> var. <i>yezoensis</i> (エ ゾゴメグサ)、 <i>Pedicularis chamissonis</i> v ar. <i>hokkaidoensis</i> (キタヨツバシオガマ (ハ ツコウダシオガマ))、 <i>Pedicularis resupi nata</i> subsp. <i>teucriifolia</i> var. <i>caespitosa</i> (ト モエシオガマ)、 <i>Pennellianthus frutescens</i> (イワヅクロ (タルマイソウ))、 <i>Veroni ca schmidtiana</i> subsp. <i>schmidtiana</i> (キクバ クワガタ)、 <i>Veronica serpyllifolia</i> subsp. <i>humifusa</i> (テンダクワガタ (ハイクワガ タ))、 <i>Veronica undulata</i> (カワヂシャ (カ ワヂサ、カワジサ))
ハマウツボ	<i>Boschniakia rossica</i> (オニク (キムラタ ケ))、 <i>Phacellanthus tubiflorus</i> (キヨスミ ウツボ (キヨズミウツボ))
タヌキモ	<i>Utricularia minor</i> (ヒメタヌキモ (ナガレ ヒメタヌキモ、フトヒメタヌキモ、チビヒ メタヌキモ))
スイカズラ	<i>Linnaea borealis</i> (リンネソウ (メオトバサ、

		エゾアリドオシ))、 <i>Lonicera alpigena subsp. glehnii</i> (エゾヒヨウタンボク (オオバブシダマ、オオバエゾヒヨウタンボク))、 <i>Lonicera caerulea subsp. edulis</i> (ケヨノミ))、 <i>Lonicera caerulea subsp. edulis var. emphylocalyx</i> (クロミノウグイスカゲラ))、 <i>Lonicera chamissoi</i> (チシマヒヨウタンボク))、 <i>Lonicera chrysantha var. crassipes</i> (ネムロブシダマ))、 <i>Lonicera maximowiczii var. sachalinensis</i> (ベニバナヒヨウタンボク))、 <i>Macrodiervilla middendorffiana</i> (ウコンウツギ)
	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i> (オミナエシ (オミナメシ、アワバナ))
	キキヨウ	<i>Adenophora pereskiaefolia var. moiwana</i> (モイワシヤジン (ケモイワシヤジン、マンシユウツリガネニンジン))、 <i>Adenophora t riphylla var. japonica f. violacea</i> (ハクサシヤジン))、 <i>Campanula chamissonis</i> (チシマギキヨウ))、 <i>Campanula lasiocarpa</i> (イワギキヨウ))、 <i>Codonopsis ussuriensis</i> (バアソブ))、 <i>Lobelia sessilifolia</i> (サワギキヨウ)

	キク	<i>Achillea alpina</i> subsp. <i>japonica</i> (キタノコギリソウ (ホロマンノコギリソウ))、<i>Ac hillea ptarmica</i> subsp. <i>macrocephala</i> var. <i>macrocephala</i> (エゾノコギリソウ (オオバナノコギリソウ))、<i>Antennaria dioica</i> (エゾノチチコグサ)、<i>Artemisia koidzumii</i> var. <i>koidzumii</i> (ヒロハウラジロヨモギ (オオワタヨモギ、カラフトヨモギ))、<i>Artemisia gmelinii</i> (イワヨモギ (カムイヨモギ、マンシュウイワヨモギ))、<i>Artemisia rubripes</i> (ヤブヨモギ)、<i>Artemisia tsunoi</i> (マシュウヨモギ)、<i>Erigeron acris</i> var. <i>acris</i> (エゾムカシヨモギ (ムカシヨモギを含む)) (エゾノムカシヨモギ、オクムカシヨモギ))、<i>Inula britannica</i> subsp. <i>japonica</i> (オグルマ)、<i>Ixeridium alpicola</i> (タカネニガナ (ホソバノタカネニガナ))、<i>Lactuca sibirica</i> (エゾムラサキニガナ (ムラサキノゲシ))、<i>Leontopodium discolor</i> (エゾウスユキソウ (レブンウスユキソウ))、<i>Ligularia hodgsonii</i> (トウゲブキ (エゾタカラコウ、オニタカラコウ))、<i>Nemosensio nikoensis</i> (サワギク (ボロギク))、<i>Ps</i>
--	----	---

		<i>eudognaphalum affine</i> (ハハコグサ (ホウコグサ、オギヨウ))、 <i>Saussurea riederi subsp. yezoensis var. yezoensis</i> (ナガバキタアザミ (キタアザミ、ユウバリキタアザミ))、 <i>Solidago virgaurea subsp. asiatica var. asiatica</i> (アキノキンソウ)、 <i>Solidago virgaurea subsp. leiocarpa var. leiocarpa</i> (ミヤマアキノキンソウ (コガネギク))、 <i>Taraxacum venustum</i> (エゾタンポポ)
	トチカガミ	<i>Hydrilla verticillata</i> (クロモ (クルマモ))、 <i>Vallisneria natans var. natans</i> (セキショウモ)
	ヒルムシロ	<i>Potamogeton alpinus</i> (ホソバヒルムシロ)、 <i>Potamogeton compressus</i> (エゾヤナギモ (アカンコモ))、 <i>Potamogeton gramineus var. heterophyllus</i> (エゾノヒルムシロ (エゾヒルムシロ))、 <i>Potamogeton maackianus</i> (センニンモ)、 <i>Potamogeton pectinatus</i> (リュウノヒゲモ)、 <i>Potamogeton perfoliatus</i> (ヒロハノエビモ)、 <i>Potamogeton pusillus</i> (イトモ)
	イバラモ	<i>Najas marina</i> (イバラモ)

	ユリ	<i>Aletris foliata</i> (ネバリノギラン)、<i>Clintonia udensis</i> (ツバメオモト)、<i>Fritillaria camschatcensis</i> var. <i>camschatcensis</i> (クロユリ (エゾクロユリ))、<i>Gagea lutea</i> (キバナノアマナ (キバナアマナ))、<i>Hemerocallis dumortieri</i> var. <i>esculenta</i> (ゼンテイカ (ニッコウキスゲ、エゾゼンテイカ、センダイカンゾウ))、<i>Hosta sieboldii</i> var. <i>reticulata</i> (タチギボウシ (マルバタチギボウシ、エゾギボウシ))、<i>Lilium medeoloides</i> var. <i>medeoloides</i> (クルマユリ (チシマクルマユリ、ホソバクルマユリ、タガイハクルマユリ))、<i>Lilium pensylvanicum</i> (エゾスカシユリ)、<i>Maianthemum bifolium</i> (ヒメマイヅルソウ (ヒメマイズルソウ、ケマイヅルソウ、ニッコウマイヅルソウ))、<i>Streptopus streptopoides</i> subsp. <i>japonicus</i> (タケシマラン)、<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>coccinea</i> (チシマゼキショウ (クロミノイワゼキショウ、クロミゼキショウ、リシリゼキショウ))、<i>Trillium apetalon</i> (エンレイソウ)、<i>Trillium camschatcense</i> var. <i>camschatcense</i> (オオバナノエンレイソウ)、<i>T.</i>
--	----	--

		<i>rillium channellii</i> (カワユエンレイソウ)、 <i>Trillium tschonoskii</i> (ミヤマエンレイソウ (シロバナエンレイソウ))、 <i>Trillium x y ezoense</i> (トカチエンレイソウ)
ヤマノイモ		<i>Dioscorea japonica</i> (ヤマノイモ (ジネンジ ヨ、ヤマイモ))
アヤメ		<i>Iris sanguinea</i> (アヤメ)、 <i>Iris setosa</i> var. <i>setosa</i> (ヒオウギアヤメ)
イグサ		<i>Juncus filiformis</i> (エゾホソイ (カラフトホ ソイ、コウライイ、リシリイ))、 <i>Luzula jimboi</i> subsp. <i>atrotepala</i> (ミヤマヌカボシ ソウ (ミヤマスズメノヒエ))、 <i>Luzula o ligantha</i> (タカネスズメノヒエ)
イネ		<i>Agrostis flaccida</i> (ミヤマヌカボ (ヒメコメ ススキ))、 <i>Agrostis mertensii</i> (コミヤマ ヌカボ)、 <i>Arundinella hirta</i> (トダシバ)、 <i>Deschampsia flexuosa</i> (コメススキ (アオコ メススキ))、 <i>Elymus sibiricus</i> (エゾムギ)、 <i>Festuca ovina</i> subsp. <i>ruprechtii</i> (ミヤマウ シノケグサ)、 <i>Glyceria depauperata</i> var. <i>i nfirma</i> (ウキガヤ)、 <i>Schizachne purpurasc ens</i> subsp. <i>callosa</i> (フォーリーガヤ)、 <i>Sp odiopogon sibiricus</i> (オオアブラススキ)、

	<i>Stipa coreana</i> var. <i>japonica</i> (ヒロハノハネガヤ)、 <i>Stipa pekinensis</i> (ハネガヤ (ペキンハネガヤ))、 <i>Torreyochloa natans</i> (ホソバドジョウツナギ)
サトイモ	<i>Calla palustris</i> (ヒメカイウ (ミズザゼン、ミズイモ))、 <i>Lysichiton camtschatcense</i> (ミズバショウ)、 <i>Symplocarpus nipponicus</i> (ヒメザゼンソウ)
ミクリ	<i>Sparganium emersum</i> (エゾミクリ)、 <i>Sparganium erectum</i> var. <i>erectum</i> (ミクリ)、 <i>Sparganium glomeratum</i> var. <i>glomeratum</i> (タマミクリ)
カヤツリグサ	<i>Carex augustiniowiczii</i> var. <i>augustiniowiczii</i> (ヒラギシスグ (エゾアゼスグ))、 <i>Carex bohemica</i> (カヤツリスグ)、 <i>Carex canescens</i> (ハクサンスグ)、 <i>Carex capricornis</i> (ジヨウロウスグ (ヒロハノジヨウロウスグ))、 <i>Carex humilis</i> var. <i>nana</i> (ホソバヒカグスグ (ヒメヒカグスグ))、 <i>Carex limosa</i> (ヤチスグ (カラフトヤチスグ))、 <i>Carex loliacea</i> (アカンスグ)、 <i>Carex meretensis</i> var. <i>urostachys</i> (キンチャクスグ (イワキスグ))、 <i>Carex middendorffii</i> var. <i>m.</i>

		<i>iddendorffii</i> (トマリスグ (ホロムイスグ、クロスグ))、<i>Carex omiana</i> var. <i>monticola</i> (カワズスグ)、<i>Carex pallida</i> (ウスイロスグ (エゾカワズスグ))、<i>Carex parciflora</i> var. <i>parciflora</i> (グレーンズグ (カミコウチスグ))、<i>Carex pseudocuraica</i> (ツルスグ (ツルカワズスグ))、<i>Carex pseudocyperus</i> (クグズグ (ジヨウロウスグモドキ))、<i>Carex pseudololiacea</i> (ヒロハイツポンスグ (オオツルスグ、セイタカツルスグ))、<i>Carex remotiuscula</i> (イトヒキスグ)、<i>Carex scita</i> var. <i>riishirensis</i> (リシリスグ (マシケスグ))、<i>Carex tsuishikarensis</i> (ホロムイクグ)、<i>Carex uda</i> (エゾハリスグ (オオハリスグ))、<i>Carex vanheurckii</i> (ヌイオスグ (シロウマヒメスグ))、<i>Carex viridula</i> (エゾサワスグ (ヒメサワスグ))、<i>Eriophorum vaginatum</i> subsp. <i>fauriei</i> (ワタスグ (スズメノケヤリ))、<i>Fimbristylis dichotoma</i> var. <i>tentsuki</i> (テンツキ)、<i>Kyllinga brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i> (ヒメクグ)
	ラン	<i>Calanthe nipponica</i> (キンセイラン)、<i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>erecta</i> (ギンラン)、

		<i>Cephalanthera longibracteata</i> (ササバギン ラン)、<i>Cremastra appendiculata</i> var. <i>variabilis</i> (サイハイラン)、<i>Dactylorhiza aristata</i> (ハクサンチドリ)、<i>Dactylorhiza aristata</i> f. <i>albiflora</i> (シロバナハクサンチドリ)、<i>Dactylorhiza viridis</i> (アオチドリ (ネムロチドリ、タカネアオチドリ、チシマアオチドリ))、<i>Dactylosteinopanax ringens</i> (イチヨウラン (ヒメヒトハラン))、<i>Ephippianthus schmidtii</i> (コイチヨウラン)、<i>Epipactis papillosa</i> var. <i>papillosa</i> (エゾスズラン (アオスズラン))、<i>Epipogon aphyllum</i> (トラキチラン)、<i>Galearia cyclochila</i> (カモメラン (カモメソウ、イチヨウチドリ))、<i>Gastrodia elata</i> var. <i>elata</i> (オニノヤガラ)、<i>Goodyera repens</i> (ヒメヤマウズラ)、<i>Liparis krameri</i> var. <i>krameri</i> (ジガバチソウ)、<i>Liparis kumokiri</i> (クモキリソウ)、<i>Liparis makinoana</i> (スズムシソウ (スズムシラン))、<i>Malaxis monophyllos</i> (ホザキイチヨウラン (ホザキフタバラン))、<i>Myrmecochilus japonica</i> (アリドオシラン)、<i>Neolindleya camtschatica</i> (ノビネチドリ)、
--	--	---

		<i>Neottia cordata</i> (コフタバラン (フタバラン))、<i>Neottia nidus-avis</i> (エゾサカネラン)、<i>Neottia nipponica</i> (ミヤマフタバラン)、<i>Neottia papilligera</i> (サカネラン)、<i>Neottianthe cucullata</i> (ミヤマモジズリ)、<i>Oreorchis patens</i> (コケイラン (ヒメケイラン、ヒメコケイラン))、<i>Platanthera chorisiana</i> var. <i>chorisiana</i> (タカネトンボ)、<i>Platanthera chorisiana</i> var. <i>elata</i> (ミヤケラン)、<i>Platanthera fuscescens</i> (ヒロハトンボソウ)、<i>Platanthera metabifolia</i> (エゾチドリ (フタバツレサギ))、<i>Platanthera ophrydioides</i> (キノチドリ)、<i>Platanthera sachalinensis</i> (オオヤマサギソウ (キラישユチドリ))、<i>Platanthera tipuloides</i> subsp. <i>tipuloides</i> var. <i>sororia</i> (ホソバノキノチドリ (ツブラトンボソウ))、<i>Platanthera tipuloides</i> subsp. <i>nipponica</i> (コバノトンボソウ)、<i>Platanthera ussuriensis</i> (トンボソウ (コトンボソウ))
--	--	---

(イ) 植栽等規制植物及び区域

植物を植栽し、又は当該植物の種子をまくことを規制する植物及びその区域を次のとおりとする。

(表 3 : 植栽等規制植物及び区域表)

名称	区域	地種区分	区域の概要	面積 (ha)	植栽等規制植物
西別岳	北海道川上郡標茶町内 国有林根釧西部森林管 理署 3420 林班の全部並び に 3405 林班、3406 林班、 3412 林班、3413 林班及び 3419 林班の各一部	第 1 種特別地域	西別岳及びその周辺は、ササ地にダケカン バ等が点在する亜高山植生が主体であり、山 頂や稜線付近にはイワブクロやガンコウラ ン等の高山植生が見られる。 当該地域にはコマクサの生育が可能と考 えられる環境が点在しているが、自生してい たという学術上の記録は無い。しかし近年、 外部から人為的に持ち込まれた種子が播か れた可能性があるほか、既に数個体が生育し ている事が確認された。このため、持ち込ま れたコマクサが今後定着及び拡大し、在来 の植物相に影響を及ぼすおそれがある。 本指定区域は、これらの自然環境を保護す るため、コマクサの播種や定着等が想定され る地域を選定したものである。	853.5	コマクサ

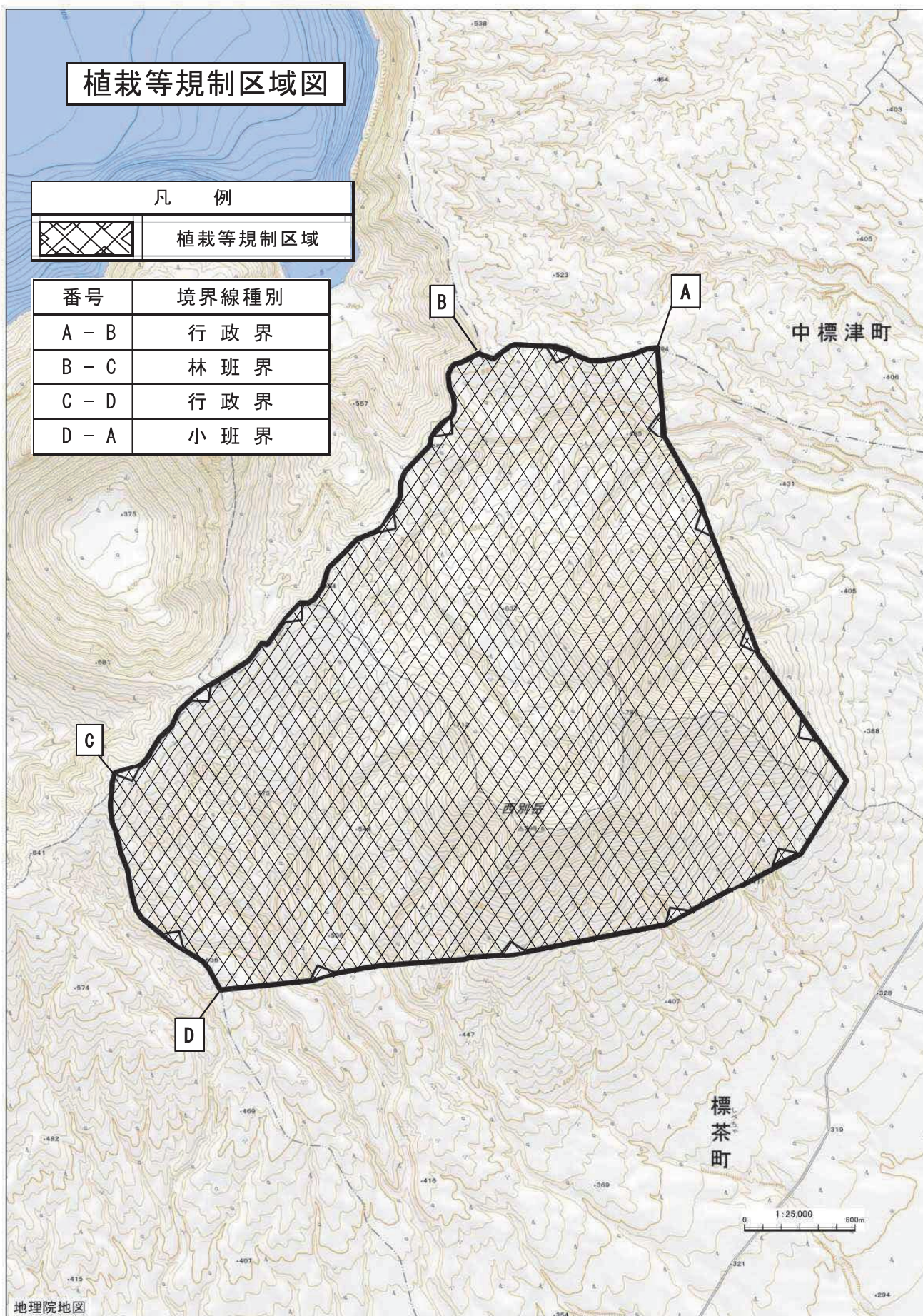
植栽等規制区域図

凡 例



植栽等規制区域

番号	境界線種別
A - B	行政界
B - C	林班界
C - D	行政界
D - A	小班界



(ウ) 乗入れ規制区域及び期間

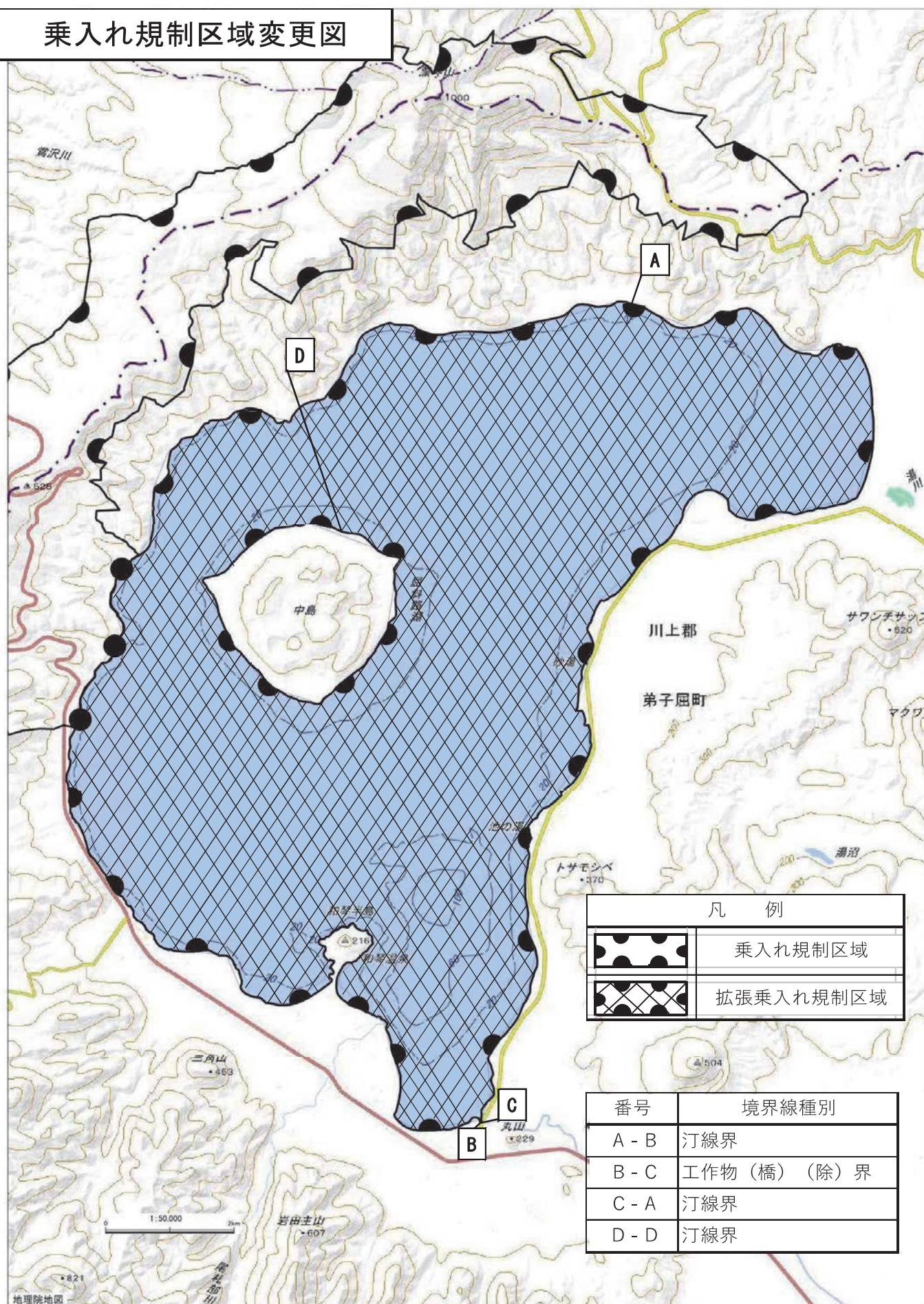
車馬若しくは動力船の使用又は航空機の着陸を規制する区域の次のとおりとする。

(表 4 : 乗入れ規制区域及び期間表)

名 称	区 域	地 種 区 分	区域の概要	面積 (ha)	期 間
屈斜路湖	北海道川上郡弟子屈町 (屈斜路湖水面の全部)	第 1 種特別地域	屈斜路湖はシラカバやミズナラ、エゾマツ、トドマツ等からなる針広混交林に囲まれた日本最大のカルデラ湖であり、湖と森林、外輪山による良好な自然景観を呈している。 当該区域においては、近年、水上スキーや釣り等を目的とした動力船の利用が増加しており、弟子屈町が事務局を務める屈斜路湖適正利用連絡協議会によって利用上のルールが設けられているほか、公共の発着場が整備されているなど、利用の適正化が図られてきた。しかし実際は、暴走行為や湖岸全域での発着・係留等が無秩序に行われているため、屈斜路湖の静謐な風致が損なわれているほか、水生植物や湖畔林の生育に影響が及ぶおそれがある。	7,954	4 月 1 日～12 月 31 日

			本拡張区域は、これらの自然環境を保護するため、動力船の乗入れが想定される地域を選定したものである。			
--	--	--	---	--	--	--

乗入れ規制区域変更図



4 事業計画の変更内容

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

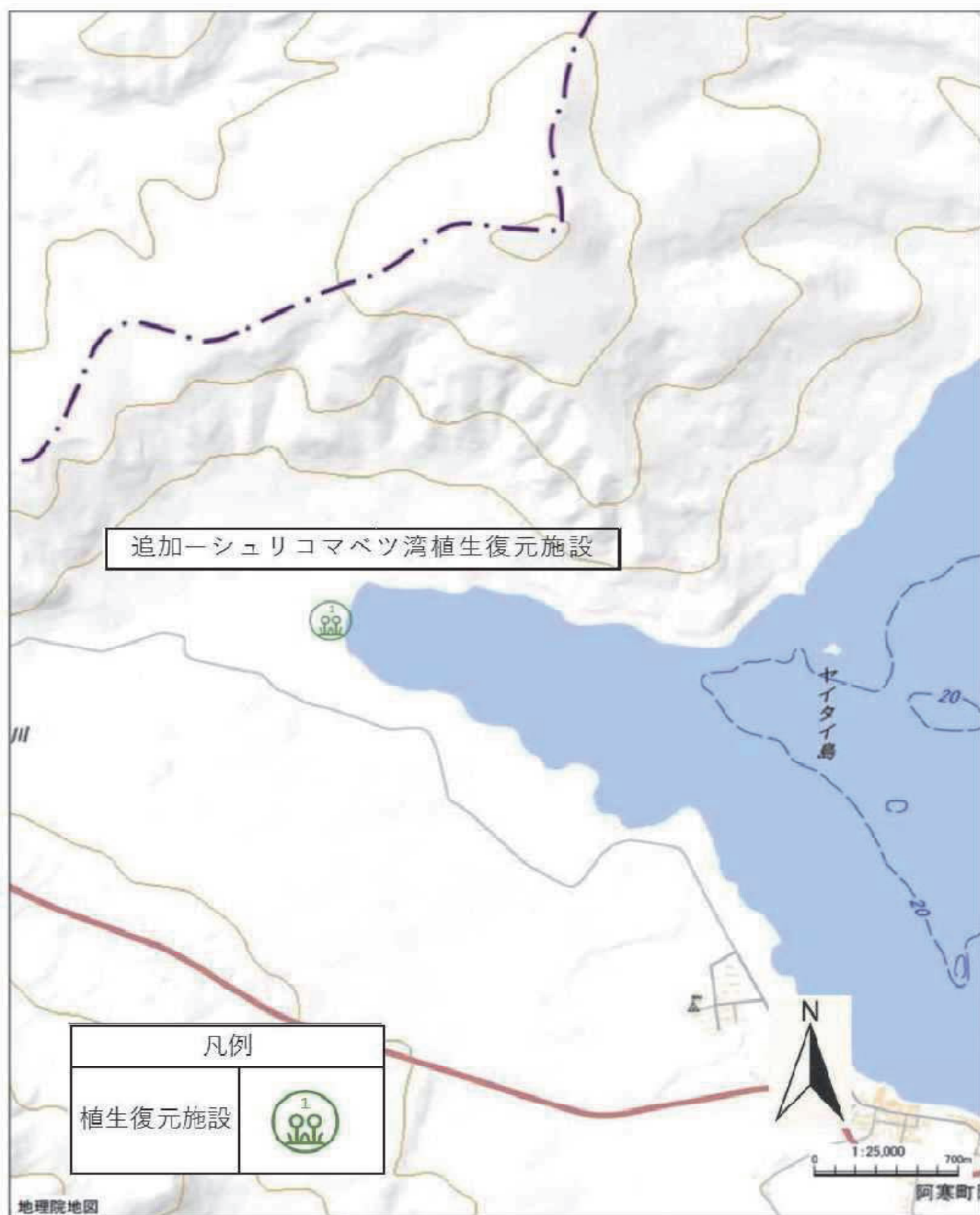
(ア) 植生復元施設

次の植生復元施設を追加する。

(表5：植生復元施設追加表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	植生復元施設	北海道釧路市（シユリコマベツ湾）	失われた球状マリモの生育地を復元する。	新規

保護施設計画変更図



イ 利用施設計画

利用施設計画の一部を次のとおり変更する。

(ア) 集団施設地区

阿寒湖畔集団施設地区を次のとおり変更する。

(表 6：区域変更表)

番号	区分	名称	告示 年月日	変更部分 の区域	変更理由	変更面積 (ha)	変更後面積 (ha)
3	拡張	阿寒湖畔	昭和 62.3.30	北海道釧路市 阿寒町阿寒湖温泉の一部	集団施設地区内の園路 と一体的に管理されて いる歩道が含まれる範 囲について、区域への編 入を行うもの。	25.1	106.1

(表7：集団施設地区表)

番号	名称	区域	計画目標	整備計画区 及び基盤施設	整備方針	面積 (ha)
3	阿寒湖畔	北海道釧路市内 国有林根釧西部 森林管理署 2149 林班及び2150 林 班の各一部 北海道釧路市 阿寒町阿寒湖温泉、シアレンヌ及びシュリコママベツの一部	本地区は阿寒湖に面し、周囲はミズナラ、ハンノキ、アカエゾマツ等の針広混交林に囲まれた温泉地となっており、年間 52 万人（令和元年度）の宿泊利用者があ る。 近年、旅行形態の変化や景観形成や街作りの取組みの推進等、本地区の社会的条件が変化している。 その社会的変化に対応し、四季型の利用推進を図るとともに、これらの利用者が、単に風景を觀賞するのみではなく、阿寒摩周国立公園の自然とふれあい、理解を深められるための拠点とする。	阿寒湖畔地区	公園西側の利用拠点として、四季型の利用推進を図るための施設整備を行う。 既存施設の充実を図るとともに、エコミュージアムセンター、湖岸遊歩道、宿泊施設、園地、駐車場、野営場、スケート場等の整備を行う。 なお、施設の整備にあたっては、湖岸及び自然林の保護並びに各施設からの排水及び土砂の流出等による阿寒湖の水質汚濁の防止に努めるとともに、雄阿寒岳や阿寒湖等への眺望にも配慮するよう努める。	106.1
面積計				国	公	私
				15.6	25.1	65.4
				106.1		

集団施設地区計画変更図

変更後の区域線



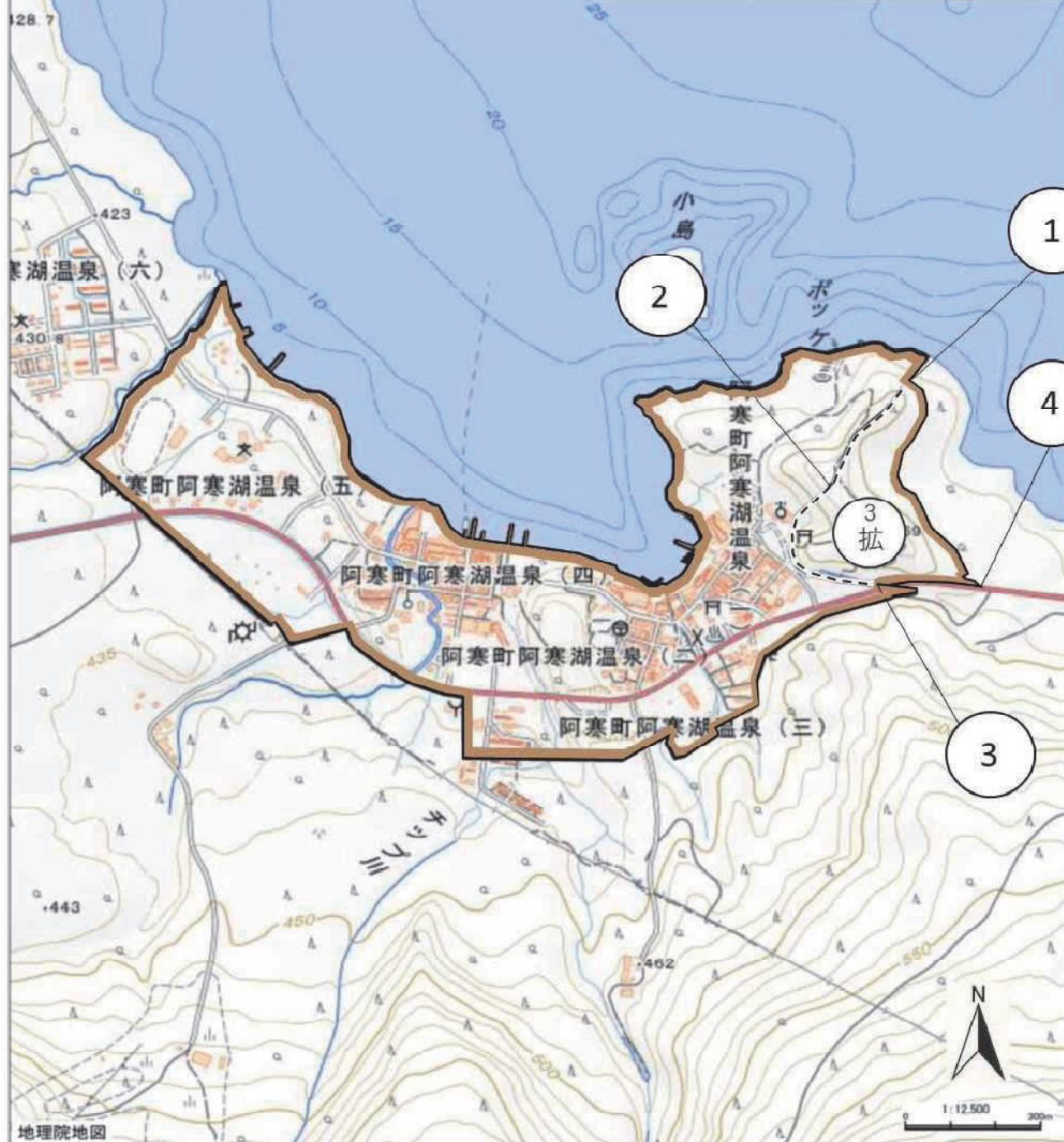
廃止される区域線



凡 例

拡張

1 - 2	稜線界
2 - 3	地番界
3 - 4	道路敷（除）界
4 - 1	等高線（440m）界

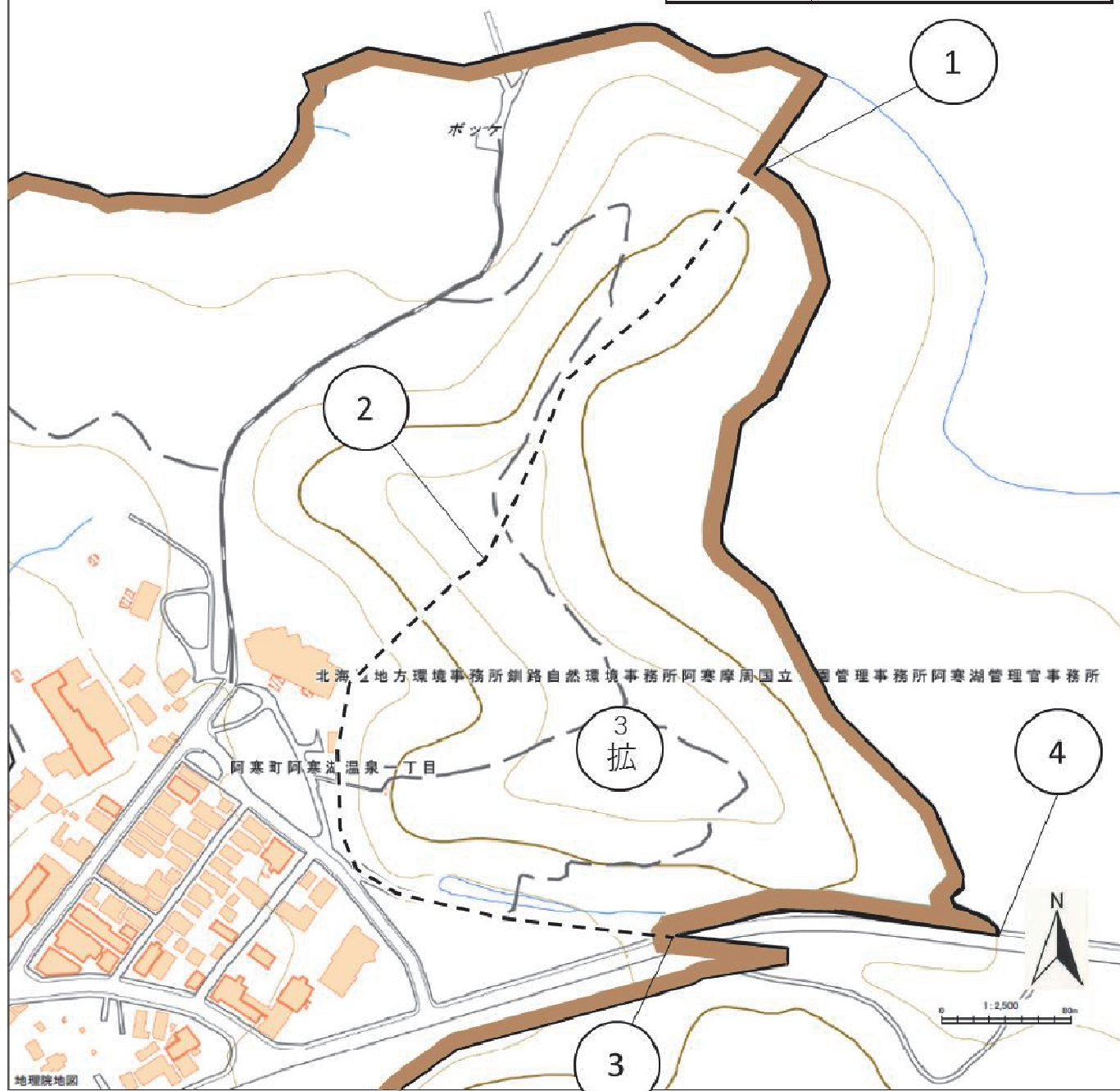


集団施設地区計画変更図（詳細図）

変更後の区域線	
廃止される区域線	

凡 例

拡張	
1 - 2	稜線界
2 - 3	地番界
3 - 4	道路敷（除）界
4 - 1	等高線（440m）界



(イ) 単独施設

次の単独施設を追加する。

(表 8 : 単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
50	避難小屋	北海道釧路市 (阿寒町舌辛)	屈斜路・阿寒カルデラ縦走線の利用者のための避難小屋として整備する。	新規

利用施設計画変更図 1

凡 例

避難小屋



サマツケヌブリ

追加—避難小屋（阿寒町舌辛）

釧路市



弟子屈

0 1:25,000 600m

地図

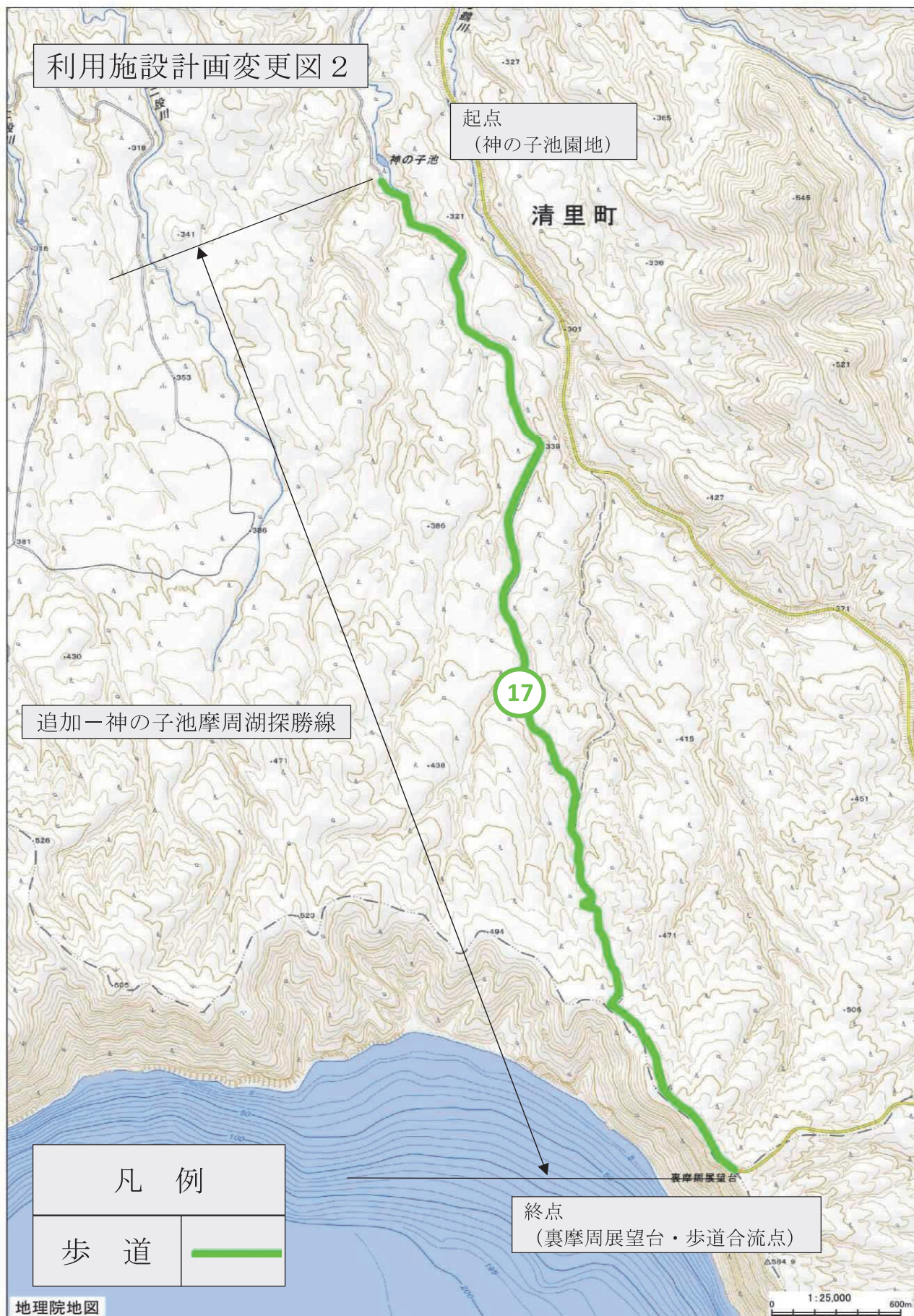
- (ウ) 道路
- a 歩道
- 次の歩道を追加する。

(表 9：道路（歩道）追加表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整 備 方 針	告示年月日
17	神の子池摩周湖探勝線	起点－北海道斜里郡清里町（神の子池園地） 終点－北海道斜里郡清里町（裏摩周展望台・歩道合流点）	神の子池 裏摩周展望台 摩周湖	神の子池から裏摩周展望台への到達及び摩周湖の展望のための歩道として整備する。	新規
18	屈斜路湖藻琴山接続登山線	起点－北海道川上郡弟子屈町（字跡佐登・歩道分岐点） 終点－北海道斜里郡小清水町（藻琴山八合目園地・歩道合流点）	屈斜路湖 藻琴山	屈斜路湖から藻琴山八合目への登山により屈斜路カルデラ外輪山に接続するための歩道として整備する。	新規
19	屈斜路湖美幌峠接続登山線	起点－北海道川上郡弟子屈町（オンネシレト川河口北側・歩道分岐点） 終点－北海道網走郡美幌町（美幌峠・歩道合流点）	屈斜路湖 美幌峠	屈斜路湖から美幌峠への登山により屈斜路カルデラ外輪山に接続するための歩道として整備する。	新規
20	屈斜路・阿寒カルデラ縦走線	起点－北海道川上郡弟子屈町（三角山山麓） 終点－北海道釧路市（滝口・歩道合流点） 北海道釧路市（国立公園境界）	屈斜路湖 尾札部川 双湖台 滝口	屈斜路カルデラ外輪山と阿寒カルデラ外輪山への登山及び両カルデラを展望し阿寒地域と摩周地域を縦走するための歩道として整備する。	新規
21	川湯温泉川線	起点－北海道川上郡弟子屈町（川湯集団施設地区） 終点－北海道川上郡弟子屈町（字サワンチサップ・歩道合流点）	ミソノ川 湯川	川湯温泉から屈斜路湖に流れ込む温泉川沿いを探勝する歩道として整備する。	新規
22	アカエゾマツの森探勝路	起点－北海道川上郡弟子屈町（川湯集団施設地区） 終点－北海道川上郡弟子屈町（川湯集団施設地区・歩道合流点）	アカエゾマツの森	川湯博物展示施設を中心とした自然探勝フィールド及び川湯硫黄山線に向かうための歩道として整備する。	新規
23	美留和摩周湖線	起点－北海道川上郡弟子屈町（美留和・歩道分岐点） 終点－北海道川上郡弟子屈町（摩周第一展望台・歩道合流点）	摩周湖	美留和から摩周湖への探勝歩道として整備する。	新規

次の歩道を次のとおり変更する。
（表10：道路（歩道）変更表）

現 行					新 規					理由
番号	路線名	区間	主 要 経過地	告 示 年月日	番号	路線名	区間	主 要 経過地	整備方針	
2	屈斜路湖北 西外輪山線	起点―北海道網走郡美幌町 （美幌峠） 終点―北海道網走郡美幌町 （藻琴山・歩道分岐点）		平 10.8.31 告示 の変更	2	屈 斜 路 湖 北 西 外 輪 山 線	起点―北海道網走郡美幌町 （藻琴山山頂・歩道分岐点） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （津別峠展望台・国立公園境界）	藻琴山 美幌峠 サマッカリヌプリ	屈斜路カルデラの北側 及び西側の外輪山上を 探勝するための歩道と して整備する。	阿寒摩周国立公園トレイ ルネットワーク構想に基 づき、藻琴山から津別峠ま での屈斜路カルデラ外輪 山をつなぐ歩道とするた め路線の延長と起終点の 変更を行う。
8	川湯硫黄山 線	起点―北海道川上郡弟子屈町 （川湯集団施設地区） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （川湯駅前・歩道合流点） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （硫黄山南山麓・歩道合流 点）	硫黄山	昭 62.3.30 告示	8	川 湯 硫 黄 山 線	起点―北海道川上郡弟子屈町 （川湯集団施設地区） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （川湯駅前・歩道合流点） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （硫黄山南山麓・歩道合流点）	硫黄山 熊落とし	イソツツジ及びハイマ ツ群落、自然林の探勝、 硫黄山の探勝及び登山 のための歩道として整 備する。	硫黄山登山再開に伴い、登 山道の路線への追加を行 う。
10	屈斜路湖畔 線	起点―北海道川上郡弟子屈町 （川湯集団施設地区） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （碁石ヶ浜）	碁石ヶ浜	平 10.8.31 告示 の変更	10	屈 斜 路 湖 周 回 線	起点―北海道川上郡弟子屈町 （字サワンチサップ） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （和琴半島）	碁石浜 仁伏	屈斜路湖の周回及び和 琴半島到達するための 探勝歩道として整備す る。	阿寒摩周国立公園トレイ ルネットワーク構想に基 づき、屈斜路湖の湖岸を1 周する歩道とするため路 線の延長を行う。
11	摩周湖西別 岳探勝線	起点―北海道川上郡弟子屈町 （摩周第三展望台） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （摩周岳） 終点―北海道川上郡標茶町 （西別岳登山口）	摩 周 第 一 展望台 西別岳	平 15.8.20 告示	11	摩 周 湖 西 別 岳 探 勝 線	起点―北海道川上郡弟子屈町 （摩周第三展望台） 起点―北海道川上郡清里町 （裏摩周展望台・歩道分岐点） 終点―北海道川上郡弟子屈町 （摩周岳） 終点―北海道川上郡標茶町 （西別岳登山口）	摩 周 第 一 展望台 裏 摩 周 園 地 摩周岳 西別岳	摩周湖の景観及び摩周 岳、西別岳への登山道と して整備する。	阿寒摩周国立公園トレイ ルネットワーク構想に基 づき、裏摩周園地からも 西別岳、摩周岳へと登頂 可能な登山道とするた め、路線の延長と起点の 追加を行う。



利用施設計画変更図 3

終点
(藻琴山八合目園地・歩道合流点)

追加一屈斜路湖藻琴山接続登山線

18

起点
(字跡佐登・歩道分岐点)

凡 例

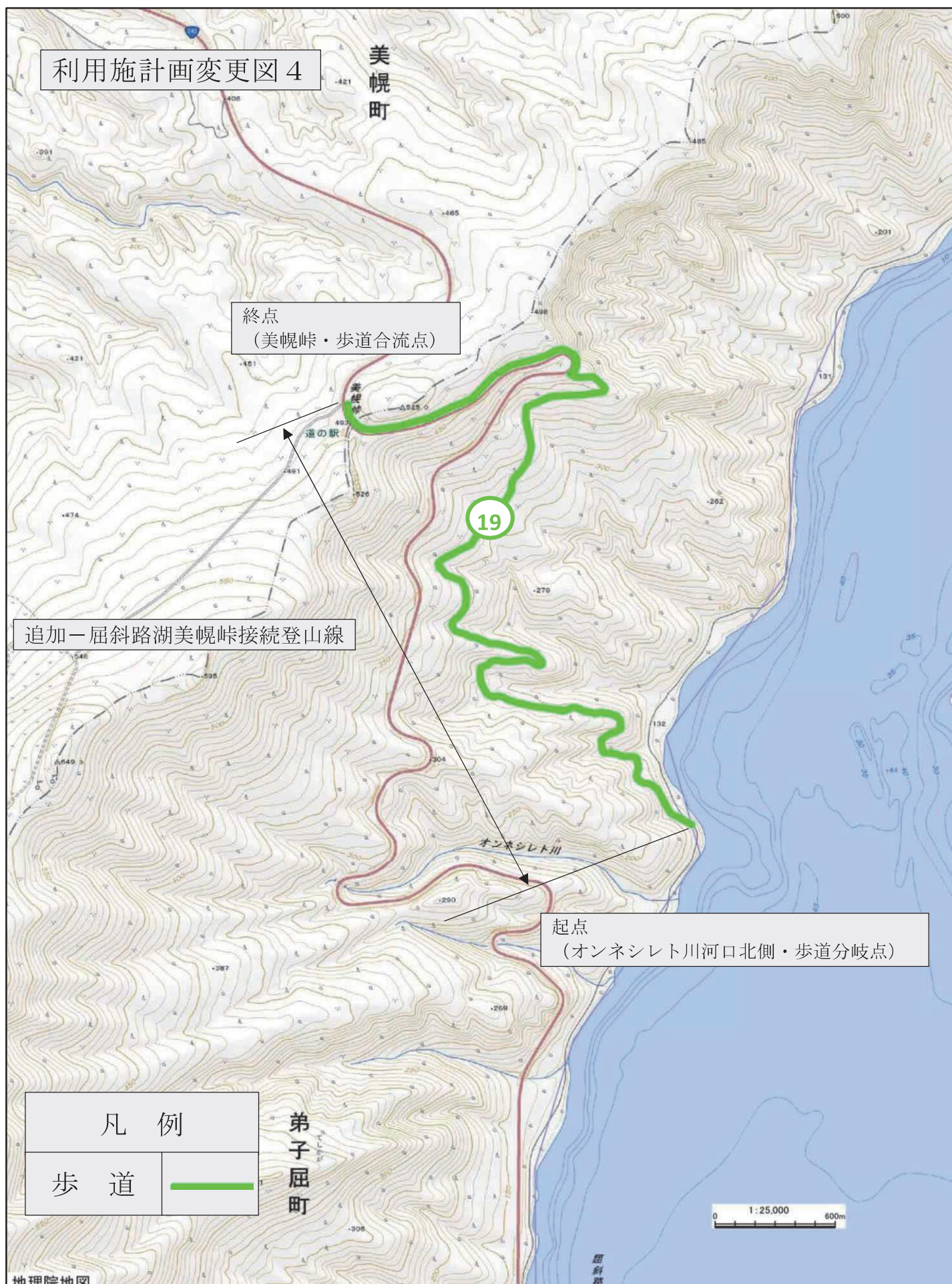
歩 道

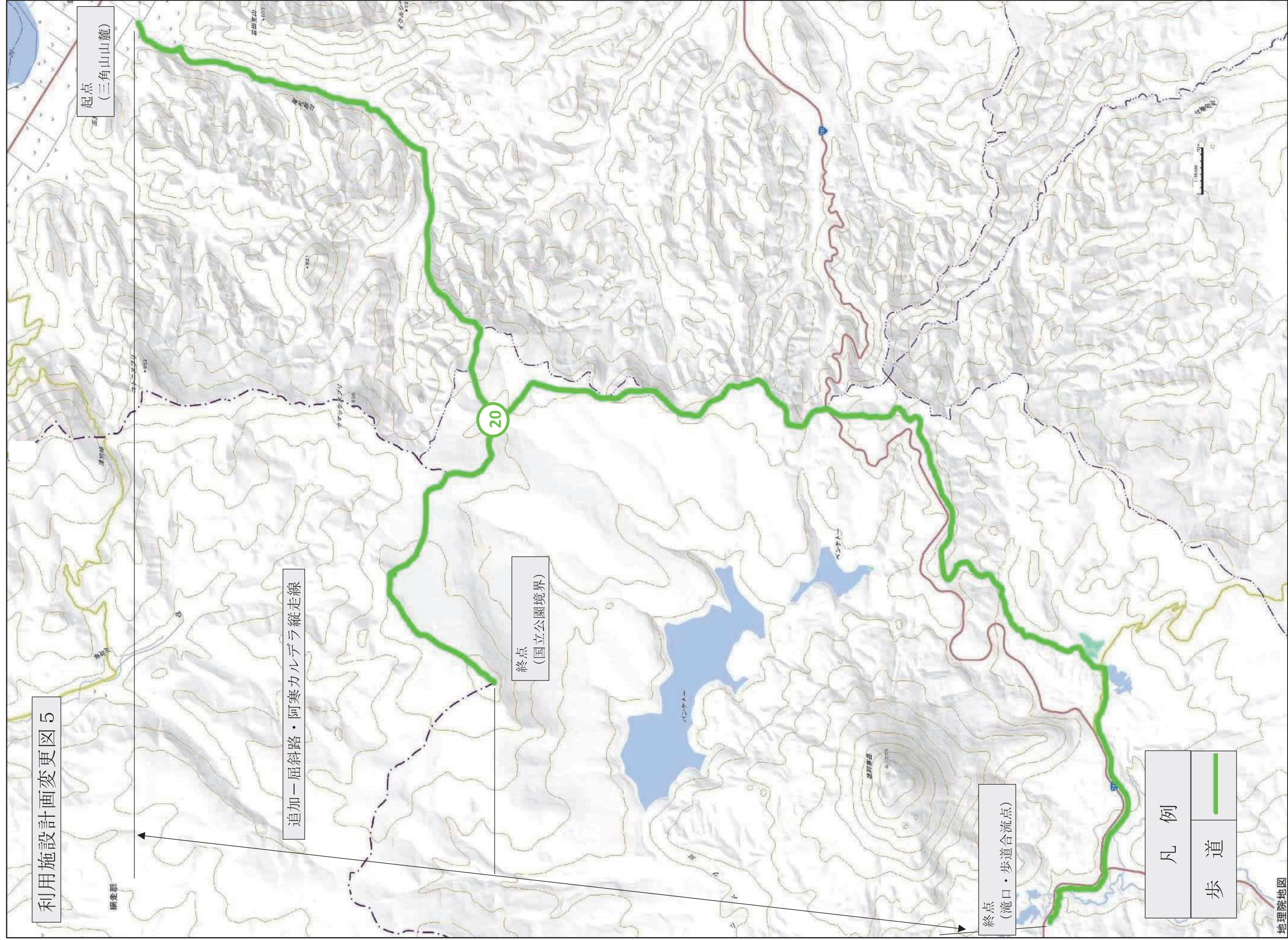


地理院地図

屈斜路湖

1:25,000
0 600m





利用施設計画変更図 6

終点
(字サワンチサップ・歩道合流点)

起点
(川湯集團施設地区)

追加ー川湯温泉川線

凡 例

歩 道

21

サワンチサップ

マクワンチサップ

弟子屈町

川湯温泉 (一)

川湯温泉 (三)

川湯温泉 (五)

川湯温泉 (七)

1:25,000

0 600m

起点
(川湯集團施設地区)

ポンポン山

サワンチサップ

弟子屈町

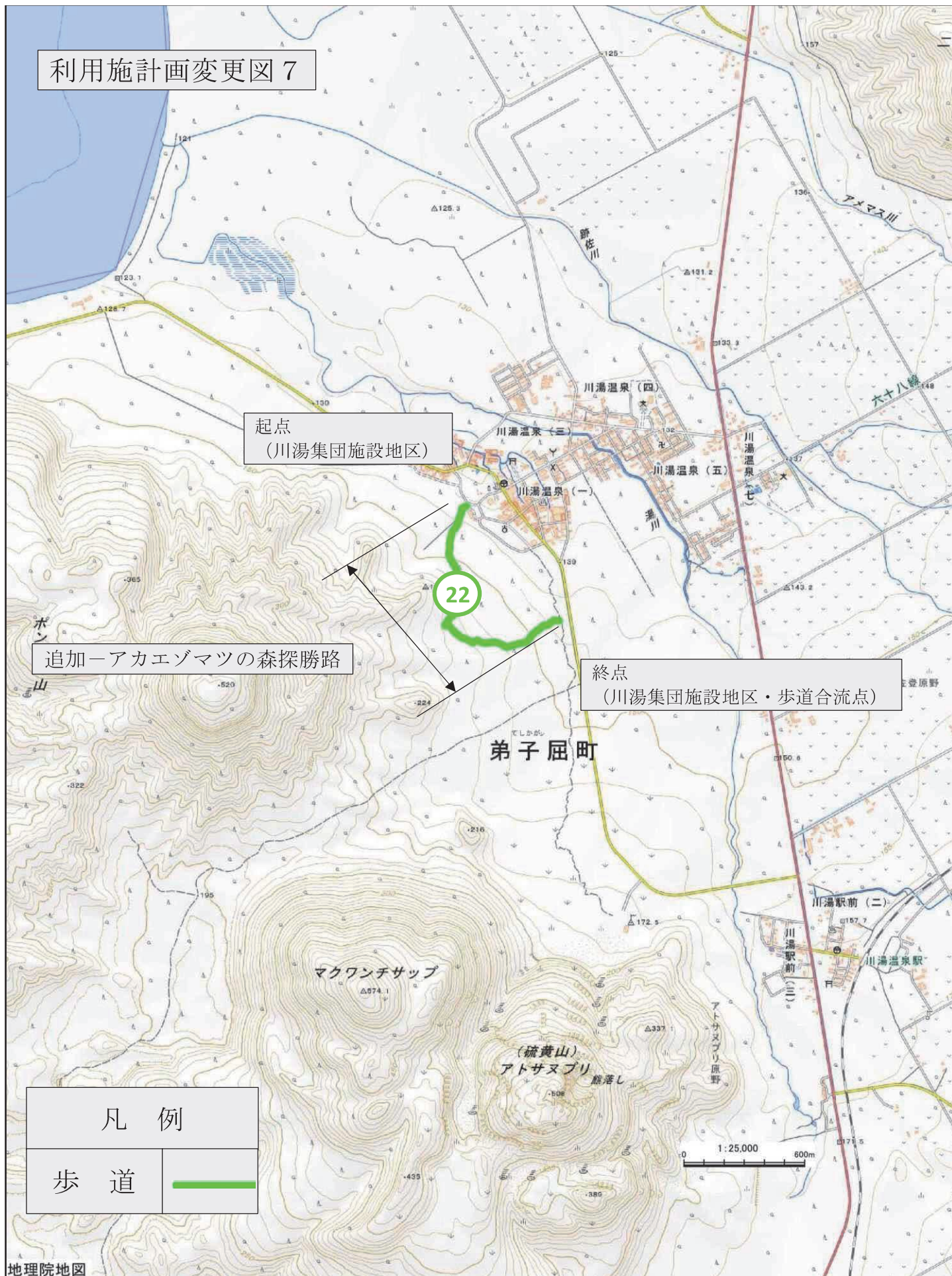
凡 例

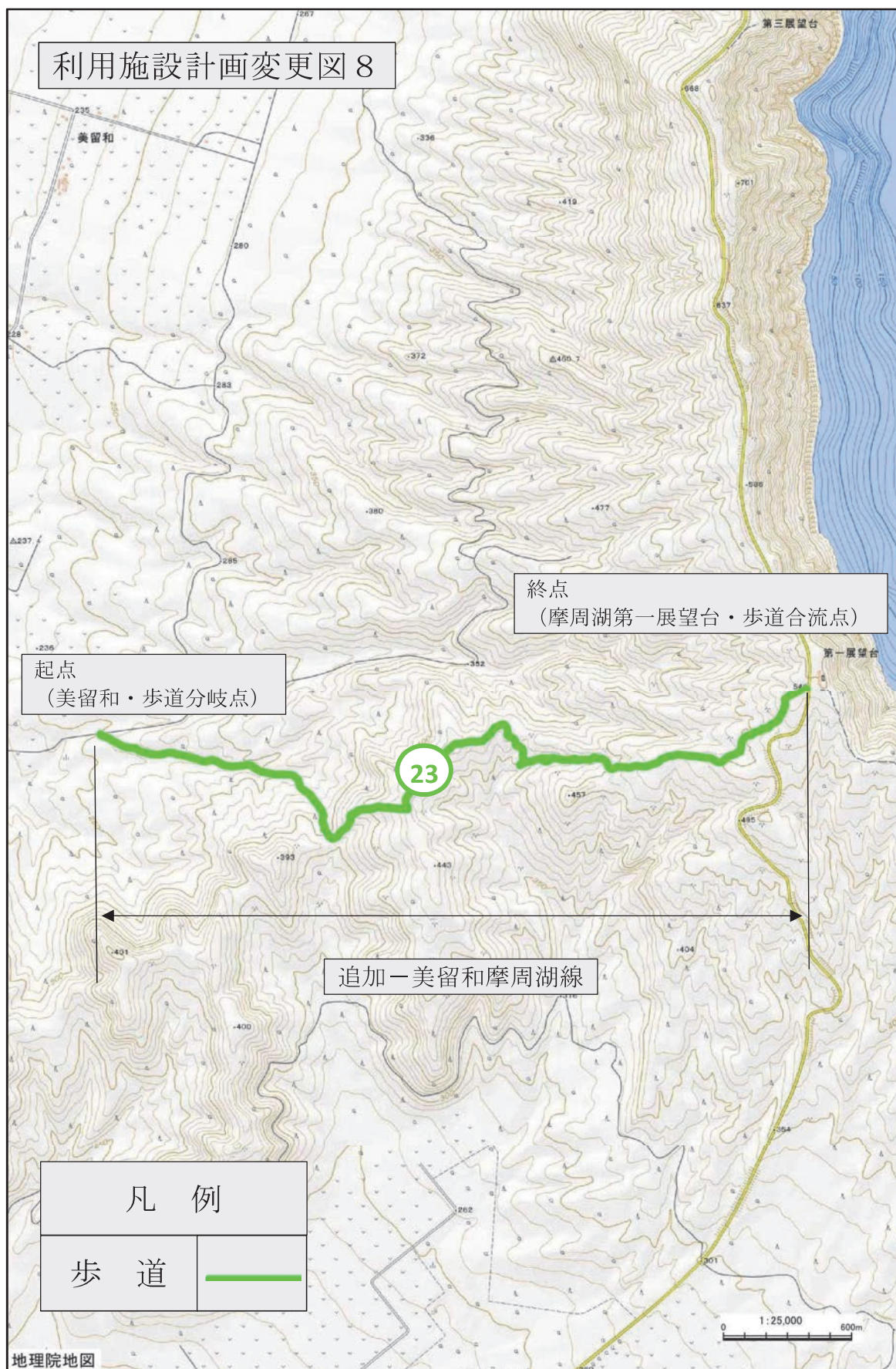
步道

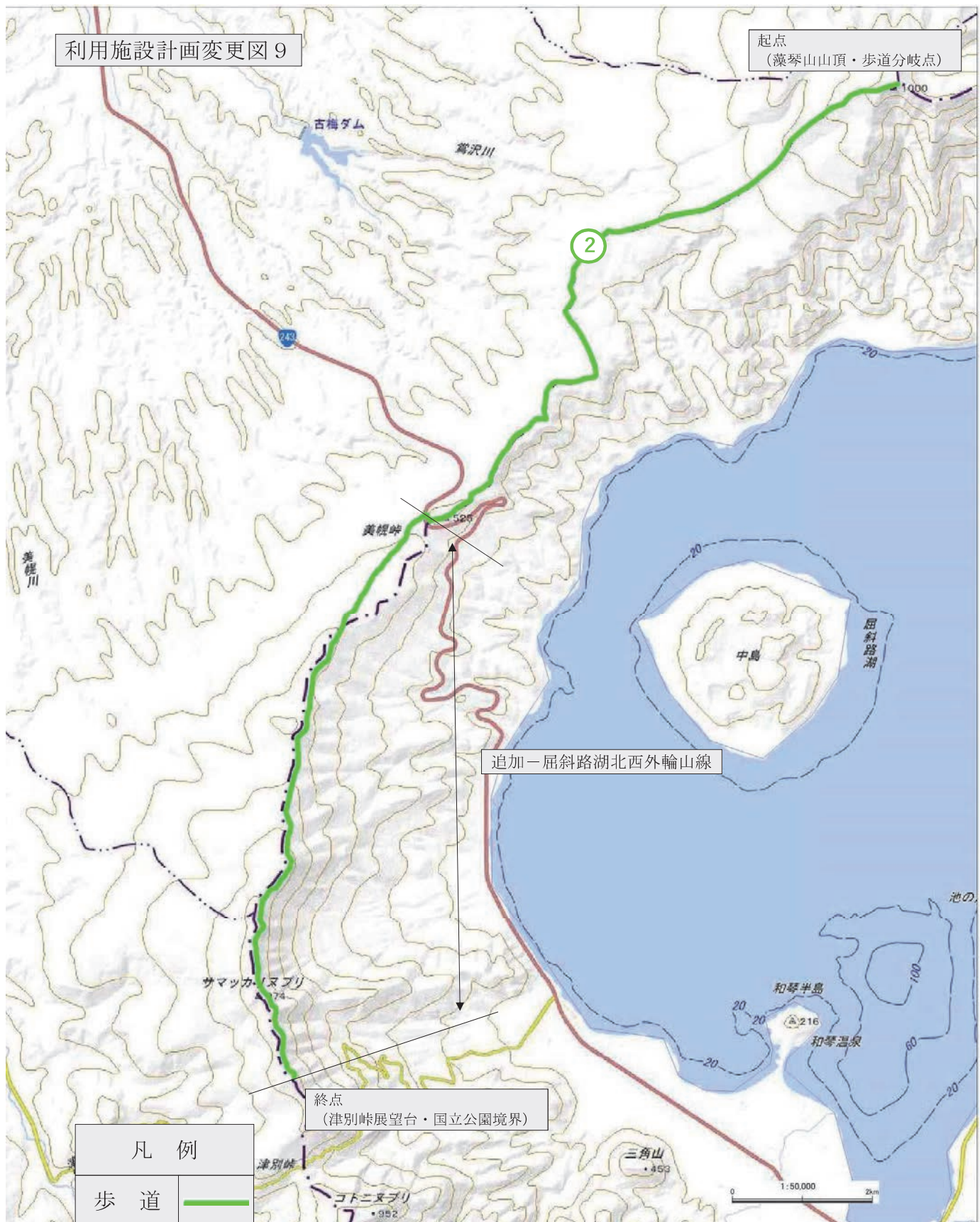
マクワンチサップ

1:25,000 600m

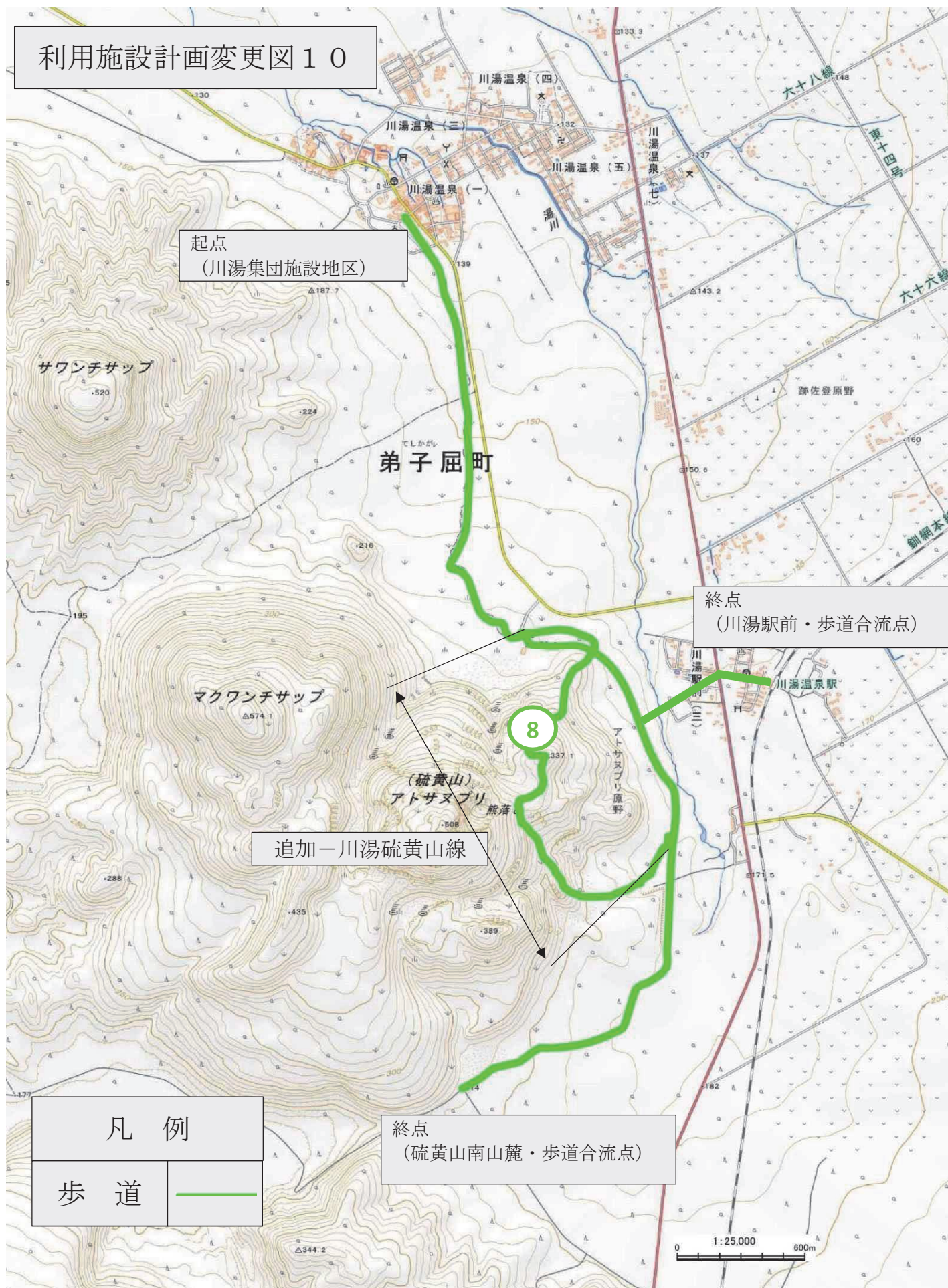
利用施計画変更図 7

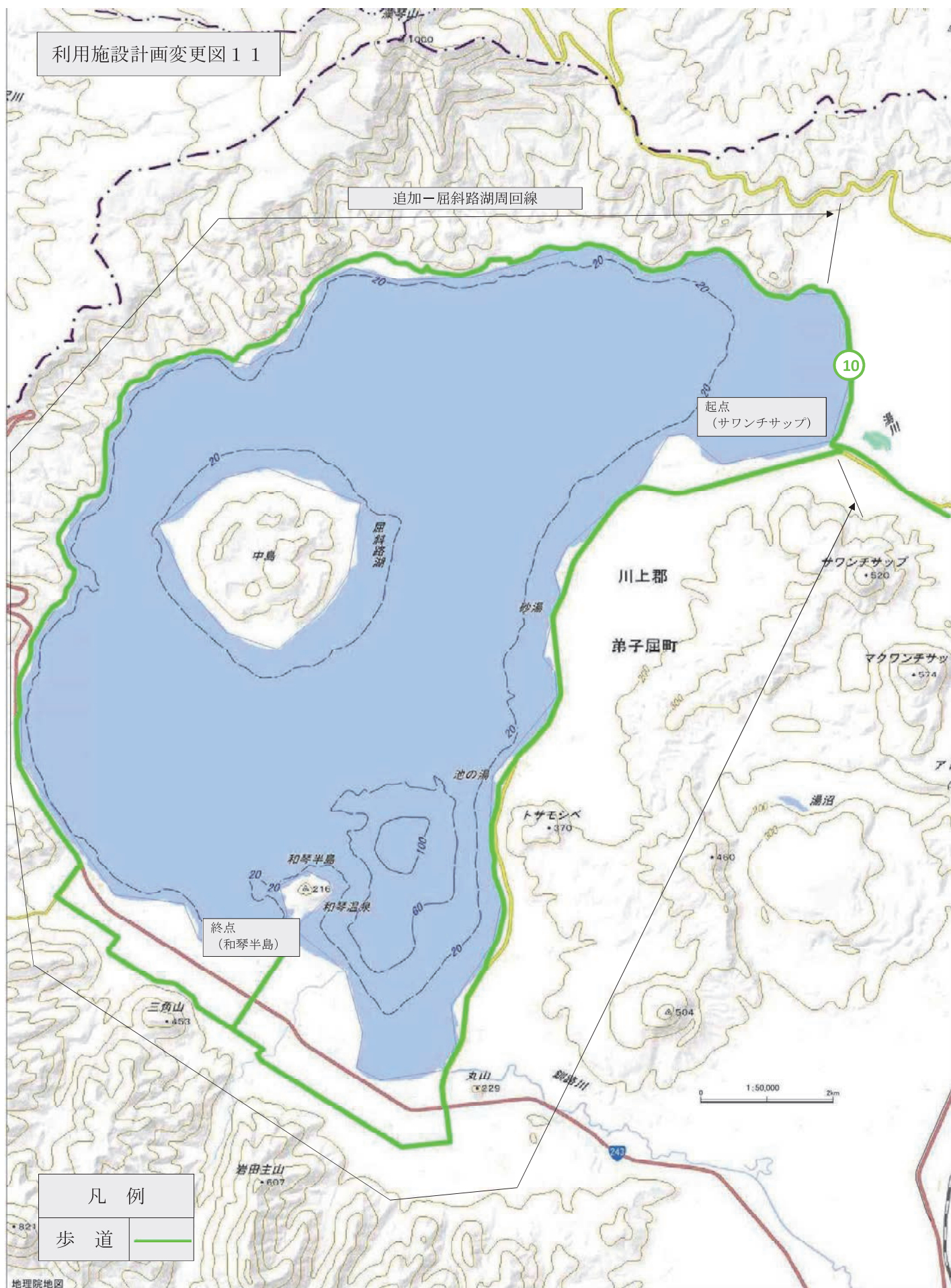






利用施設計画変更図 10





利用施設計画変更図 1 2



5 参考事項

参考事項を次のとおり変更する。

(表 11：参考事項変更表)

変 更 前	変 更 後
(3) 過去の経緯 昭和 9 年 12 月 4 日 公園区域の指定 昭和 13 年 5 月 13 日 特別地域の指定 昭和 29 年 8 月 3 日 特別保護地区の指定 昭和 52 年 11 月 15 日 公園区域及び公園計画の全般的な見直し (再検討) 昭和 62 年 3 月 30 日 公園計画の変更 (第 1 次点検) 平成 2 年 12 月 1 日 公園計画の変更 (乗入れ規制地域の指定) 平成 5 年 1 月 28 日 公園計画の変更 (第 2 次点検) 平成 10 年 8 月 31 日 公園計画の変更 (第 3 次点検) 平成 15 年 8 月 20 日 公園計画の変更 (公園事業の変更) 平成 25 年 3 月 12 日 公園計画の変更 (第 4 次点検)	(3) 過去の経緯 昭和 9 年 12 月 4 日 公園区域の指定 昭和 13 年 5 月 13 日 特別地域の指定 昭和 29 年 8 月 3 日 特別保護地区の指定 昭和 52 年 11 月 15 日 公園区域及び公園計画の全般的な見直し (再検討) 昭和 62 年 3 月 30 日 公園計画の変更 (第 1 次点検) 平成 2 年 12 月 1 日 公園計画の変更 (乗入れ規制地域の指定) 平成 5 年 1 月 28 日 公園計画の変更 (第 2 次点検) 平成 10 年 8 月 31 日 公園計画の変更 (第 3 次点検) 平成 15 年 8 月 20 日 公園計画の変更 (公園事業の変更) 平成 25 年 3 月 12 日 公園計画の変更 (第 4 次点検) 平成 29 年 8 月 8 日 公園区域及び公園計画の変更 (第 5 次点検)、阿寒摩周国立公園へ名称変更

